

# 平成28年度 第1回 京都市地域リハビリテーション推進会議 次第

平成28年6月24日（金）午後2時から  
地域リハビリテーション推進センター研修室

## [目次及び資料一覧]

### 1 報告

(1) 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進事業及び高次脳機能障害者支援の取組の実施状況について	・・・・・・P 1~14
(別紙1) 地域リハビリテーション推進研修実施状況	・・・・・・P 15~16
(別紙2) 地域リハビリテーション推進研修内容一覧	・・・・・・P 17~24
(別紙3) 地域リハビリテーション推進研修アンケート結果	・・・P 25~26
(別紙4) 地域リハビリテーション推進研修職種別延べ受講者数	・P 27~28
(別紙5) 総合支援学校等教職員研修実施報告書	・・・・・・P 29~30
(別紙6) 障害福祉サービス事業所等訪問支援事業実施報告書	・・・P 31~34
(別紙7) 高次脳機能障害者支援センター相談支援の状況	・・・P 35~36
(別紙8) 入門講座・専門研修の参加者の内訳	・・・・・・P 37~38
(2) 平成28年度京都市地域リハビリテーション推進事業及び高次脳機能障害者支援の取組について	・・・・・・P 39~44
(別紙9) 地域リハビリテーション推進研修（初任者向け）研修内容一覧	・・・・・・P 45~48
(別紙10) 失語症のある方の相談支援事業チラシ	・・・・・・P 49~50
(別紙11) 高次脳機能障害入門講座チラシ	・・・・・・P 51~56
(別紙12) 高次脳機能障害支援者のためのステップアップ研修チラシ	・・・・・・P 57~59

### 2 その他

#### 【別冊資料】

- (資料1) 障害者福祉サービス利用者支援事例集
- (資料2) つながるノート
- (資料3) センター機関紙「リハ&エール（第3号）」

## 京都市地域リハビリテーション推進会議委員名簿

平成28年4月1日現在

氏名	所属機関等
上原 春男	学識経験者／医師
加藤 博史	学識経験者／龍谷大学短期大学部教授
西村 幸秀	京都府医師会理事
沖 豊彦	京都市社会福祉協議会 京都市福祉ボランティアセンター 所長 地域福祉推進室ボランティア・地域支援部 部長
榎 信一	京都市身体障害者福祉施設長協議会会長代行
並河 茂	京都府理学療法士会会长
平山 聰	京都府作業療法士会会长
瀧澤 透	京都府言語聴覚士会会长
長谷川泰子	京都府看護協会常任理事
植松 理香	京都医療ソーシャルワーカー協会事務局長
酒伊 良行	京都市障害者地域生活支援センター連絡協議会理事
吉田 信吾	京都市居宅介護等事業連絡協議会理事
井桁 光	京都市生活介護等事業所連絡協議会運営委員
井上 基	京都府介護支援専門員会会长
中田 景子	京都市保健福祉局障害保健福祉推進室企画課長
伊藤 宏	京都市教育委員会事務局指導部総合育成支援課長
西尾 健	京都市地域リハビリテーション推進センター所長

事務局 京都市地域リハビリテーション推進センター  
 〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地  
 電話 075-823-1655  
 FAX 075-842-1545

事務局員氏名	職名
西村 文恵	次長
舟瀬 伴子	相談課長
小山 雅史	企画課企画係長
上藤 恵子	相談課地域リハビリテーション推進係長
南部 美紀子	相談課高次脳機能障害支援係長
吉田 弘子	企画課企画担当

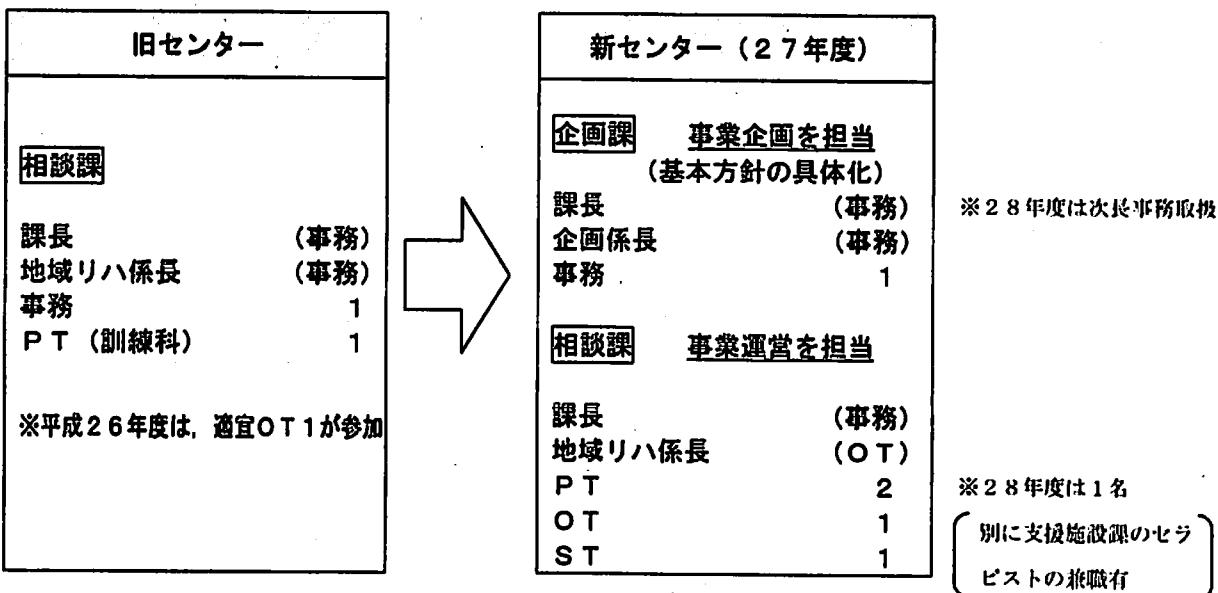
## 報告1 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進事業及び高次脳機能障害者支援の取組の実施状況について

平成27年度は、旧京都市身体障害者リハビリテーションセンターを機能再編し、京都市地域リハビリテーション推進センターとして新たにスタートした最初の年度であり、①地域リハビリテーションのより一層の推進と、②新たに取り組む高次脳機能障害者支援に重点を置いて取組を進めた1年であった。

### 1 地域リハビリテーションの推進

地域リハビリテーションの担い手である福祉サービス事業所は年々増加しており、6月現在で2,799箇所になる。当センターにおいては、地域リハビリテーションの推進に携わる職員数を増員して実施体制を強化し、地域リハビリテーション推進研修事業や障害福祉サービス事業所等訪問支援事業等を中心に専門機関としてきめ細かく事業を展開し、事業所支援の強化のみならず、障害のある市民向けの事業内容の充実を図った。

#### <地域リハビリテーション推進実施体制の拡充について>



#### (1)研修・指導

##### ア 地域リハビリテーション推進研修事業（別紙1～4）

引き続き、市内福祉サービス事業所等に勤務する職員に対して、リハビリテーションをはじめ福祉・介護サービスに関する知識及び技術の向上を図ることを目的に研修を実施した。

地域リハビリテーション推進センター初年度の平成27年度は、より有意義な研修となるよう、内容を検証し、よりニーズに即したテーマ設定等、カリキュラムの充実を目指した。

この結果、初任者向けの前期実施分については、定員数は減少することとなったが、多くの講座で受講者が定員超過となり、特に座学においては、受講者数が対前年度で大きく増加した。

（別紙1）

一方で、後期実施分については、実習は講座数の増加に伴って受講者数も増加したが、座学においては、平成26年度は地域リハビリテーション推進研修事業で実施し、平成27年度は

別枠で実施した高次脳機能障害関連研修を除いても、受講者数は大きく減少した。

受講者に実施したアンケートにおいては、約90%の方に満足との回答をいただいているが（別紙3），受講者数が大きく減少したことについて、実施時期や研修内容等分析を進め、今後の開催内容を検討する必要がある。

#### ＜研修の実施状況＞

		平成26年度	平成27年度	増減	備考
前期	座学	講座数	11	10	△1
		定員数	530	500	△30
		出席者数	375	583	208
	実習	講座数	8	8	0
		定員数	112	48	△64
		出席者数	113	49	△64
後期	座学	講座数	21	13	△8
		定員数	1,410	630	△780
		出席者数	825	316	△509
	実習	講座数	14	20	6
		定員数	130	159	29
		出席者数	58	93	35
合計	座学	講座数	32	23	△9
		定員数	1,940	1,130	△810
		出席者数	1,200	899	△301
	実習	講座数	22	28	6
		定員数	242	207	△35
		出席者数	171	142	△29

※「出席者数」は1講座毎にカウント（例：1日に1人が連続して2つの講座に出席した場合は、出席者数は2）

#### 【関連資料】

- （別紙1）地域リハビリテーション推進研修実施状況
- （別紙2）平成27年度地域リハビリテーション推進研修内容一覧
- （別紙3）平成27年度地域リハビリテーション推進研修アンケート結果
- （別紙4）平成27年度地域リハビリテーション推進研修職種別延べ受講者数

#### イ 総合支援学校等教職員研修事業（別紙5）

引き続き、市内の総合支援学校、肢体育成学級に従事する教職員のリハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図るため、各校の希望に沿った研修等を実施した。

		平成 26 年度	平成 27 年度
新任教職員技術指導研修	4 校 3 日間コース 11 名受講	※地域リハ推進研修（初任者向け）において実施 7 名受講	
事例研修	・西総合支援学校 19 回 延べ 81 名受講	・西総合支援学校 18 回 延べ 51 名受講 ・吳竹総合支援学校 3 回 延べ 14 名受講 ・西院小学校 1 回 1 名受講	
肢体育成学級派遣研修・研究会（西ブロック）	・太秦小学校 2 回 延べ 14 名受講 ・美豆小学校 2 回 延べ 13 名受講 ・南太秦小学校 2 回 延べ 14 名受講 ・蜂ヶ岡中学校 2 回 延べ 14 名受講	・大藪小学校 2 回 延べ 14 名受講 ・宇多野小学校 2 回 延べ 16 名受講 ・嵯峨野小学校 3 回 延べ 21 名受講 ・西京極中学校 2 回 延べ 14 名受講	
肢体育成学級研究会（吳竹ブロック）	1 回 11 名受講	2 回 延べ 21 名受講	
総合支援学校教育研究会	1 回 110 名受講	※なし	

【関連資料】

（別紙 5）平成 27 年度 総合支援学校等教職員研修実施報告書

ウ 障害福祉サービス事業所等訪問支援事業（別紙 6、別冊資料 1）

引き続き、地域リハビリテーション推進センターの専門職員（理学療法士等のセラピスト）を市内の生活介護事業所等に派遣し、事業所職員に対して、利用者の身体状況の把握や機能維持及び適切な介助・支援の方法等について助言を行った。

平成 27 年度から、訪問支援対象事業所に居宅介護事業所及び相談支援事業所を加え、障害福祉サービス関係事業所すべてを対象とした。

また、派遣セラピストについて、これまでの理学療法士及び作業療法士の増員に加え、言語聴覚士も新たに配置し、コミュニケーション等に関する助言も行うこととした。

さらに、訪問時にセンターセラピストの行った助言・提案内容について、当該事業所職員で共有化を図れるよう、文書でまとめ、後日、支援結果報告書を送付することとした。

これらの取組の結果、平成 27 年度は前年度と比較し、訪問箇所数及び回数（=申込数）は共に概ね倍増したが、市内の障害福祉サービス事業所数に照らせば、当事業の利用はまだまだ広がっていない状況である。

繰り返し利用いただいている事業所が多いことからも、本事業に対するニーズはあると考えられるが、内容や有効性等について、周知が十分なされていないという声も聞かれていることから、この度作成した「障害者福祉サービス利用者支援事例集」（別冊資料 1）やセンター機関紙「リハキエール」の活用等、あらゆる機会を捉え、引き続き、事業の P R をしていく必要があると考えられる。

<訪問実績>

		平成26年度	平成27年度	増減	備考
生活介護	訪問箇所数(箇所)	10	16	6	
	延訪問回数(回)	28	43	15	
	延べ利用者数(人)	56	68	12	
就労移行・就労継続支援	訪問箇所数(箇所)	3	4	1	
	延訪問回数(回)	3	6	3	
	延べ利用者数(人)	3	9	6	
居宅介護	訪問箇所数(箇所)		9	9	平成27年度から実施対象事業所に追加
	延訪問回数(回)		9	9	
	延べ利用者数(人)		9	9	
計	訪問箇所数(箇所)	13	29	16	
	延訪問回数(回)	31	58	27	
	延べ利用者数(人)	59	86	27	

\*訪問実績のある事業所種別のみ掲載

【関連資料】

(別紙6) 平成27年度障害福祉サービス事業所等訪問支援事業実施報告書

(別冊資料1) 障害者福祉サービス利用者支援事例集

エ 電動車椅子講習会

引き続き、京都府警察本部交通安全企画課及び電動車いす安全普及協会の協力を得て、電動車椅子を利用している方、これから利用を考えている方やその介助者、更にケアマネージャーなど利用に関する相談を受ける立場にある方を対象に、電動車椅子を安全に利用していただくため、適切な操作方法等について実技を中心とした講習会を実施した。

<電動車椅子講習会実施状況> ※定員は各回とも15名

	参加人数(人)	
	平成26年度	平成27年度
第1回(10月)	12	12
第2回(10月)	7	12
第3回(1月)	12	
第4回(1月)	6	
計	37	24

オ からだの動きに障害のある方の体力測定会

自身の体力を確認し、身体機能の維持・向上及び社会参加の促進を図ることを目的として、平成27年度から新たに実施した(※)。

平成27年度は9月及び3月に2回ずつ実施した。

当センターの障害者支援施設利用者からの参加が多く、一般のからだに障害のある方からの参加が少なかったことが課題として残った。

※平成24年度まで旧附属病院患者や施設利用者に限定して実施していたものを、平成27年度から、からだに障害のある方であれば、当センターの利用者に限らず、広く対象として実施した。

＜体力測定会実施状況＞ ※定員は各回とも20名

	参加者数	主な測定項目	
		うち当センター障害者支援施設利用者	
9月11日	12	4	筋力（握力、下肢筋力）、棒反応、長座体前屈、ファンクショナルリーチ、アップアンドゴー、骨密度、肺活量、歩行能力 等
9月18日	10	7	
3月9日	16	11	
3月15日	17	9	
計	55	31	

#### 力 関係機関等への講師派遣研修

引き続き、関係機関等からの依頼に基づき、専門職員等による講師派遣を行い、リハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図った。

平成27年度においては、各圏域の障害者自立支援協議会において、新しいセンターの事業説明の機会をいただいたが、これを契機として、西部自立支援協議会や居宅介護事業所連絡協議会からの派遣要請をいただいたことが特徴となっている。

＜講師派遣の状況＞

	平成26年度	平成27年度
箇所数	4	6
派遣回数	9	12

<講師派遣の内訳>

	依頼者	派遣目的	派遣職員	参加者	備考
平成26年度	市鳴滝総合支援学校	介護職員初任者研修養成講座	PT, OT, 看護師各1名	同校高校3年4名	派遣日数は延6日間
	市保健福祉局長寿社会部	認定調査員新任研修会	PT 1名	調査員約40名	
	桂川療護園	介護技術研修	PT 2名	職員約40名	
	総合支援学校研究会	姿勢運動分科会研修	PT, OT 各1名	総合支援学校教員約30名	
平成27年度	市鳴滝総合支援学校	介護職員初任者研修養成講座	PT, OT, 看護師各1名	同校高校3年4名	派遣日数は延6日間
	市保健福祉局長寿社会部	認定調査員新任研修会	PT 1名	調査員約40名	
	上京障がい児者ネットワーク	入浴時介助の方法や入浴関連用具の活用及び浴室の環境調整に係る研修	PT, OT 各1名	おもにヘルパー約20名	
	居宅介護等事業連絡協議会	腰痛防止講義、介助及び移乗実習	PT 2名	おもにヘルパー約50名	
	京都市社会福祉協議会	やさしい介護講座(入浴)	PT, OT 各1名	一般市民62名	9月と3月に各1回
	京都市西部地域自立支援協議会	障害福祉サービス事業所学習会(車いすの安全な使い方)	PT, OT 各1名	ヘルパー等16名	

(2) 啓発事業

ア おはなし広場

引き続き、言語訓練を終了した言語に障害のある方について、自信をもって社会参加できるよう、言語聴覚士が中心となって語らいの場（おはなし広場）を提供し、社会活動への参加促進に取り組んだ。これまでセンター利用者を中心に実施してきたが、高齢化等により参加人数が減少傾向にある。

<おはなし広場実施状況>

年度	回数(回)	参加者数(人)	1回当たり人数(人)
平成26年度	26	210	8.1
平成27年度	25	138	5.5

## イ 地域リハビリテーション交流セミナー

引き続き、医療、福祉のみならず多くの市民の参加を求め、障害のある方とふれあうことにより、障害の有無に関わらず地域で豊かに生活できる環境づくりについて考える機会として、実施した。

平成27年度は、これまで年1回としていた開催数を年2回とした。

### <平成27年度の実施状況>

①第29回：平成27年12月4日、テーマ：高次脳機能障害のある方が地域で暮らすために  
参加者数：186人

②第30回：平成28年1月27日、テーマ：介護ロボットに触れてみよう  
参加者数：112人

(参考) 平成26年度実績 ※開催回数は年間で1回

第28回：平成27年3月14日、テーマ：地域リハビリテーションとは何か

参加者数：約30人

## ウ センター機関紙のリニューアル発行

新センターにおける事業の周知不足の状況を改善するため、これまで生活期リハビリテーションに役立つ情報提供を行うために発行してきた「地域リハ研究」をリニューアルし、センター事業に関する情報等をふんだんに加え、できる限り頻回に発信することとした。

これを契機に、機関紙名を「リハエール(※)」に改称するとともに、親しみを持っていただくため、センターのマスコットキャラクター「地域ガエル」を設けた。

※「リハビリを行っている人にエール(応援)」という思いを込めた名称

### <リハエール発行状況>

発行月	内容
平成27年11月	・所長挨拶 　・実施事業報告 　・今後の事業予定 ・特集（障害保健福祉サービス事業所等訪問支援事業）
平成28年2月	・実施事業報告 　・今後の事業予定 ・特集（京都市高次脳機能障害者支援センター）



「地域ガエル」です。  
地域に帰る（地域リハビリテーションの推進）をモットーにした当センターのキャラクターです。

## 2 高次脳機能障害者支援

### (1) 高次脳機能障害者支援センター

高次脳機能障害者専門相談窓口として、平成27年7月に、地域リハビリテーション推進センター内に「高次脳機能障害者支援センター」（以下「支援センター」という。）を新たに設置した。

支援センターには専門職員（医師1、保健師2、看護師2、作業療法士1、心理判定員1）を配置し、職員は利用者と福祉サービス事業所等とのつなぎや調整、サービスの選択や提供のための事業所等の相談員への助言、カンファレンス等への参加などを行う「支援コーディネーター」としての役割を担っている。

支援センターにおいては、高次脳機能障害のある市民が、その人らしく地域で安心して暮らせるよう個々の当事者の日常生活や社会生活の困りごとに対して、関係機関や事業所等と緊密に連携しながら、専門性を發揮して解決に取り組むとともに、これらの個別課題解決の条件整備として、地域において当事者が必要とする訓練等の福祉サービスを利用しやすい環境づくり及び支援の連携体制の構築に向け、福祉サービス事業所等の支援者に対して、専門研修の開催等を通じて、障害特性等の知識と理解の普及を図ることを基本方針に取組を進めた。

#### ア 個別支援

##### ① 相談状況（平成27年7月～平成28年3月）（別紙7）

支援センターを開設した平成27年7月から平成28年3月末までの実相談件数は、251件であった。

内容としては、当センター併設の障害者支援施設の利用に関することが最も多い、次いで高次脳機能障害の疑いの相談、家族による当事者の対処方法についての相談であった。このほか、リハビリや就労に関する相談等、内容は多岐にわたった。

相談者別では、家族と支援者（医療機関や事業所職員等）からの相談がそれぞれ約4割となっており、その方法はほとんどが電話であった。

＜相談者別状況＞

相談者	件数	構成比 %
	251	100.0
本人	35	14.0
家族	100	39.8
支援者等	116	46.2

＜方法別状況＞

相談方法	件数	構成比 %
	251	100.0
電話	219	87.3
来所	32	12.7

＜主な内容（主訴）別状況＞

相談内容	件数	構成比%
	251	100.0
高次脳機能障害該当かどうか	44	17.5
家族の対応方法	33	13.1
診察	11	4.4
入退院	2	0.8
リハビリ希望	31	12.4
当センター障害者支援施設	63	25.1
日中活動	9	3.6
在宅福祉サービス	6	2.4
就労	22	8.8
復学	2	0.8
運転免許取得	1	0.4
各種制度（手帳、年金、労災等）	11	4.4
その他	16	6.4

これらの相談の月別の推移をみると、支援センター開設当初の7月は市民しんぶんでの広報や京都新聞への掲載等もあり、75件の相談があったが、その後は毎月20件前後で推移した。

② 支援状況

これらの相談に対して行った支援の具体的な内容は以下のとおりであった。

支援内容	延べ件数	構成比%
	879	100.0
相談助言	736	83.7
対処方法助言	531	60.4
制度施策案内	128	14.6
当センター施設について	77	8.8
確定診断	22	2.5
心理検査	21	2.4
作業評価	71	8.1
同行支援	16	1.8
福祉サービス事業所	9	1.0
職業紹介機関	4	0.5
医療機関	1	0.1
行政機関	2	0.2
カンファレンス参加	9	1.0
その他	4	0.5

※支援した内容をすべてカウント

③ 継続支援

相談に対し、継続した支援の必要のある当事者の方は支援センター開設後から3月末までの間に37名おられ、うち12名は支援目標を達成する等し、継続的な支援を終了した。

<継続支援の状況>（平成28年3月末現在）

内訳		件数
継続支援を要する相談		37
支援終了件数（支援目標達成等）		12
支 援 結 果	地域生活移行（病院⇒地域） 就労（一般、福祉） 日中活動支援（サービス利用等） 確定診断 復学（小児） その他（支援事項の消滅等）	1 1 2 1 0 7
継続中の件数		25
支 援 目 標	地域生活移行（病院⇒地域） 就労（一般、福祉） 日中活動支援（サービス利用等） 確定診断 復学（小児）	1 9 9 3 3

【関連資料】

（別紙7）高次脳機能障害者支援センター相談支援の状況（平成27年7月～平成28年3月）

④ 当事者・家族交流会

平成28年3月から開始した。試行実施が終了する平成29年3月までの間に、その後の交流会の持ち方や他の家族会との関係等について検討することとしている。

<平成27年度の実施状況>

実施日	内 容	参加者数
3月11日	自己紹介、日頃の悩み等について意見交換	19

⑤ 「つながるノート」の作成（別冊資料2）

高次脳機能障害のある方が医療機関や福祉サービスを利用する際あるいは復学・就労等の地域生活を送る際に、自身の情報を何度も伝えなくても「つながるノート」を提示することで各関係者にスムーズに情報提供され、円滑に支援を受けられることを目的として作成した。

ノートの記入は支援センターの医師、支援コーディネーター及び高次脳機能障害のある方や家族等が行う。

支援センターの専門相談事業を利用した方に対し、個別面接を経て収集した内容や障害特性に関して把握した内容（神経心理学的検査結果）等を記入し、「つながるノート」を作り上げて最終面接でお渡しすることとしている。

【関連資料】

（別冊資料2）つながるノート

## イ 事業所等への支援

### ① 研修（別紙8）

#### 【入門講座】

高次脳機能障害のある方の家族や支援者から高次脳機能障害の基礎知識や対応方法についての相談が多くあったため、基礎知識を学ぶ機会として入門講座を3回シリーズで2クール実施した。参加者数は延べ354名となり、ニーズの高さがうかがえた。

#### <1クール目>

実施日	内 容	参加者数
8月21日	発症からのステップ	51
9月18日	注意障害・記憶障害・遂行機能障害	69
10月16日	社会的行動障害	69

#### <2クール目>

実施日	内 容	参加者数
1月22日	発症からのステップ	49
2月26日	注意障害・記憶障害・遂行機能障害	57
3月18日	社会的行動障害	59

#### 【専門研修】

高次脳機能障害のある方やその家族を支援する保健・医療・福祉関係機関の職員等を対象に、専門知識及び支援技術等の向上を目的に専門研修を実施した。参加者数は105名と非常に多く、入門講座と同様、専門研修に対するニーズの高さがうかがえた。また、入門講座に比べ、介護保険関連事業所からの参加割合が高かったことが特徴であった。

実施日	内 容	参加者数
2月1日	○専門医の講義 ○地域リハビリテーション推進センターの取組報告（高次脳機能障害者支援センター及び障害者支援施設）	105

#### 【関連資料】

（別紙8）入門講座・専門研修の参加者の内訳

### ② 支援者交流会

高次脳機能障害のある方やその家族を支援する支援者間のネットワーク作りや情報交換・共有等を図ることを目的に実施した。

実施日	内 容	参加者数
3月18日	自己（機関）紹介、支援に関する現状報告や意見交換	11

## ウ 普及啓発

### ① 市民向けのセミナー

実施日	事業名・内容	参加者数
12月4日	第29回地域リハビリテーション交流セミナー（再掲） (テーマ：高次脳機能障害のある方が地域で暮らすために)	186

### ② リーフレットの作成

支援センター開設にあわせ、リーフレットを作成し、関係機関に配布した。

### ③ インターネットを使った情報発信

平成27年12月に独自のホームページを作成し、研修の講座案内等を適宜行ったほか、平成28年2月からはフェイスブックを利用した情報発信も開始した。

## (2) 障害者支援施設

旧センターの機能再編前から設置していた障害者支援施設については、セラピストを増配置する等、実施体制を整備したうえ、支援対象者を従来の肢体不自由のある方から高次脳機能障害のある方に転換した。平成27年10月からは短期入所支援も開始した。

### ア 施設概要

- ① 自立訓練 40名（生活訓練10名、機能訓練（肢体不自由の障害を伴う方）30名）  
(うち入所支援30名)
- ② 短期入所 空床利用

## イ 運営実績（平成27年度実績）

### <訓練別利用者の状況>

	総数	
	入所支援	
総数	26	8
生活訓練	9	2
機能訓練	17	6

（平成28年3月末現在）

### <平成27年度利用状況月別推移>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規 利用	自立訓練	1	1	5	2	4	2	0	3	0	3	2	0 23
	入所支援	0	0	2	1	1	1	0	3	0	1	1	0 10
利用 終了	自立訓練	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0 5
	入所支援	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	5
月末現在数		9	10	15	17	21	23	22	22	24	26	26	19.8
入所支援		3	3	5	6	7	8	8	8	9	10	8	7.1
短期入所延人数								0	1	4	3	3	14
実利用者数								0	1	2	2	2	9

注)「月末現在数」の「計」は「月平均値」

<利用終了者の状況> (終了者5名(うち入所者1名、通所者4名))

※上表の「利用終了」の「入所支援」5名のうち4名は入所支援終了後、引き続き通所で当センター支援施設を利用したため、入所者で当センターの利用が終了したのは1名。

入所・通所の別	終了理由	終了後の状況
1 通所	要入院(長期)	病院へ入院
2 通所	訓練期間満了	介護保険施設通所
3 通所	訓練期間満了	就労支援B型通所
4 入所	訓練期間満了	他の障害者支援施設入所
5 通所	本人から退所申出	就労支援B型通所

## 地域リハビリテーション推進研修実施状況

【座 学】

	平成26年度				平成27年度			
	内容	定員	実績	対定員実績差	内容	定員	実績	対定員実績差
前期 (初任者)	障害者支援施策の概要①	50	50	0	障害福祉サービスの概要	50	43	△ 7
	障害者支援施策の概要②	50	50	0				
	見えへんでも普通の人生(視覚障害)	50	中止	-				
	聴覚障害の方々に寄り添つて	50	中止	-				
	知的障害	50	33	△ 17	知的障害者支援	50	67	17
	知的障害者支援の実際①	50	33	△ 17	障害者支援の実際	50	43	△ 7
	精神障害	50	49	△ 1	精神障害	50	58	8
	地域で共に生きる~当事者からの報告~	50	49	△ 1	精神障害~当事者の立場から~	50	58	8
	地域で共に生きる~当事者の親から~	50	33	△ 17				
	重度障害のある人の生活	50	50	0				
後期					発達の遅れと支援	50	67	17
					難病施策	50	68	18
					難病患者のニーズと支援方法	50	68	18
					難病患者支援~当事者の立場から~	50	68	18
	福祉用具の種類と有効活用等	30	28	△ 2	介護施策の概要	50	43	△ 7
	小計(11講座)	530	375	△ 155	小計(10講座)	500	583	83
	運動器疾患	70	35	△ 35				
	基本動作のメカニズム	70	35	△ 35				
	口腔ケア	70	29	△ 41	★介護職のための医療的ケア	50	40	△ 10
	★介護職のための医療的ケア	50	9	△ 41	大切ですよ!足のケア!	50	15	△ 35
後期	摂食・嚥下機能障害	70	29	△ 41				
	言語障害のある人の理解と対応	70	45	△ 25	失語症って何?理解と接し方	50	25	△ 25
					ことばに遅れのある人と話すときに	50	22	△ 28
					知っていますか?コミュニケーション	50	21	△ 29
	知的障害者支援の実際②	70	59	△ 11				
	発達の遅れと支援	70	59	△ 11	発達障害①	50	37	△ 13
	発達障害	70	62	△ 8	自閉症者支援の実際	50	36	△ 14
	自閉症者支援の実際	70	62	△ 8	★精神障害のある方への支援①	50	40	△ 10
	★精神障害のある方への支援①	70	29	△ 41	★精神障害のある方への支援②	50	39	△ 11
	★精神障害のある方への支援②	70	26	△ 44				
後期	触法障害者支援の実際	70	42	△ 28				
	高次脳機能障害	70	65	△ 5				
	高次脳機能障害者対応方法	70	65	△ 5				
	難病患者の生活ニーズと支援方法	70	45	△ 25				
	職場での腰痛予防	30	16	△ 14	腰痛からあなたを守るために!	30	14	△ 16
	福祉事業リスクマネジメント	70	42	△ 28				
					障害者虐待を防ごう!	50	11	△ 39
					明日から活かせる!栄養バランスのコツ	50	6	△ 44
	成年後見制度	70	13	△ 57				
	京都市の防災対策	70	29	△ 41	いざという時のために~防災対策~	50	10	△ 40
	事業所の防災取組	70	29	△ 41				
小計(21講座)		1,410	825	△ 585	小計(13講座)	630	316	△ 314
合計(32講座)		1,940	1,200	△ 740	合計(23講座)	1,130	899	△ 231

注1) 会場は、いずれも地域リハビリテーション推進センター研修室

注2) ★は委託研修

注3) 定員の70名から50名への変更は、会場となる地域リハビリテーション推進センター研修室において70名とした場合、通路に余裕がなくなる等の不都合が生じるため是正したもの。ただし、定員50名の場合に定員を超える申込みがあった場合でも、平成27年度前期研修の実績に見られるとおり、可能な限り受け入れることとしている。

## 地域リハビリテーション推進研修実施状況

【実習】

	平成26年度				平成27年度					
	内容	定員	実績	対定員実積差	内容	定員	実績	対定員実積差		
前期 (初任者)	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	11	△ 1	おでかけしよう！(ADL室) おでかけしよう！(ADL室) ごはんを食べよう！(ADL室) ごはんを食べよう！(ADL室) トイレに行こう！(ADL室) トイレに行こう！(ADL室) お風呂に入ろう！(ADL室) お風呂に入ろう！(ADL室)	6	6	0		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	12	0		6	5	△ 1		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	13	1		6	6	0		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	11	△ 1		6	7	1		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	14	2		6	6	0		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	12	14	2		6	7	1		
	車椅子のシーティング	20	20	0		6	6	0		
	車椅子のシーティング	20	18	△ 2		6	6	0		
	小計(8講座)		112	113	1	小計(8講座)		48	49	1
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	8	0	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	7	△ 1		
後期	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	6	△ 2	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	4	△ 4		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	2	△ 6	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	5	△ 3		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	5	△ 3		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	5	△ 3		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	7	△ 1		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	1	△ 7	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	1	△ 7	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5		
	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	1	△ 7	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	6	△ 2		
	車椅子のシーティング		20	14	△ 6	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	4	△ 4	
	車椅子のシーティング	20	6	△ 14	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	2	△ 6		
	介助リフトの有効活用	6	4	△ 2	からだの動かし方～介助等における基本動作～	8	3	△ 5		
	介助リフトの有効活用	6	5	△ 1	うまい自動具の活用で！できることを増やしてQOLを高めよう	6	6	0		
	介助リフトの有効活用	6	1	△ 5	うまい自動具の活用で！できることを増やしてQOLを高めよう	6	3	△ 3		
	小計(14講座)		130	58	△ 72	その姿勢、大丈夫？～崩れた座位への対処法あれこれ～	30	16	△ 14	
	合計(22講座)		242	171	△ 71	知っていますか？～介助用リフトの正しい使い方～(ADL室)	6	1	△ 5	
						知っていますか？～介助用リフトの正しい使い方～(ADL室)	6	6	0	
	小計(20講座)					おはなし広場に入ろう！	3	4	1	
	合計(28講座)					おはなし広場に入ろう！	3	1	△ 2	
						おはなし広場に入ろう！	3	2	△ 1	

注)会場は、地域リハビリテーション推進センター研修室、体育館、ミーティングルーム、日常動作訓練室(ADL室)

平成27年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(初任者向け)  
研修内容一覧(講座)

別紙2

日程	時間	研修内容	会場	申込締切	定員
5/19 (火)	13:30～ 14:10	「介護施策の概要について」 講師:京都市保健福祉局長寿社会部介護保険課 職員 高齢者保健福祉施策や介護保険事業等について、制度の基本的な知識を習得する研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	5/12 (火)	50
	14:10～ 14:50	「障害福祉サービスの概要について」 講師:京都市保健福祉局障害保健福祉推進室 施設福祉課長補佐 後藤 弘雅, 在宅福祉第一係長 橋本 真 障害者総合支援法による障害福祉サービスの基本的な知識を習得する研修です。			
	15:00～ 16:30	「障害者への支援の実際について」 講師:山科区役所福祉部支援課 曽根 啓之 福祉事務所における生活相談から支援施策の利用に繋げるプロセス等について、事例を通して学ぶ研修です。			
5/29 (金)	13:30～ 15:00	「精神障害について」 講師:京都市こころの健康増進センター 所長 波床 将材 精神障害の特性、精神疾患と神経症やパーソナリティ障害の違いやうつ病、認知症などの疾患に関する基本的な医学的知識を習得する研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	5/22 (金)	50
	15:10～ 16:00	「精神障害について」～当事者の立場から～ 講師:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 サービス管理責任者・相談支援専門員 田上 嘉之 ピアサポートー 望月 潤一 精神的な疾患から長い入院生活を送った障害当事者が、入院生活から地域に帰つて生活するまでの体験談を通し、支援方法や疾患への理解を深めます。			
6/5 (金)	13:30～ 15:00	「発達の遅れと支援」 講師:京都市発達相談所相談判定係長 古田 直樹 発達の遅れとは何か。その意味と目的知能検査の成り立ちなどの基本的な理解と、感情表現の受け止め方や共有することの大切さなど、支援にあたっての「視点」をどこに置いたらよいのか、様々な事例を通して理解を深めます。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	5/29 (金)	50
	15:10～ 16:40	「知的障害のある方への支援について」 講師:社会福祉法人世光福祉会デベスタの家 所長 中西 昌哉 知的障害のある方とどのように向き合い支援するのか、事例を通して理解を深めます。			
6/11 (木)	13:30～ 14:10	「難病施策について」 講師:京都府健康福祉部健康対策課 職員 今年度から難病に関する相談体制が変わりました。難病施策と、今後の相談体制等の基本的な内容を知る研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	6/4 (木)	50
	14:20～ 15:50	「難病患者のニーズと支援方法について」 講師:辻医院 相談員 瀬津 幸恵 筋委縮性側索硬化症(ALS)などの難病を持ちながら在宅生活を営む方が、提供される医療・介護等のサービスの充実と共に増えています。難病患者の生活ニーズを知るとともに、具体的な援助の方法について学びます。			
	16:00～ 16:50	「難病患者のニーズと支援方法について」～当事者の立場から～ 講師:全国多発性硬化症友の会関西支部 事務局 河合 美佐 難病のある方が実際にどのような生活をし、どのような支援を必要としているのか、難病患者のニーズと支援方法について理解を深めます。			

平成27年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(初任者向け)  
研修内容一覧(実習)



日程	時間	研修内容	会場	申込締切	定員
5/15 (金)	13:30~ 17:00	「お出かけしよう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  「外出する」という事は、介護予防やQOL向上の効果もあり重要なことです。 外出前の身だしなみについての話や、歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、電動車椅子について体験を交えて学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	京都市地域 リハビリ テーション 推進セン ター  4階ADL室と 3階体育館	5/8 (金)	各 6名
6/12 (金)				6/5 (金)	
5/13 (水)	13:30~ 17:00	「ご飯を食べよう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  食事は生命維持のための栄養補給の他、生きがいを感じる場、他者とのコミュニケーションの場として、重要な意味を持ちます。 今回は食事に関する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や、心理的側面、口腔ケア、コミュニケーションなどについて幅広く考えてみます。  ※カップに入ったゼリー(具なし)を1個持参して下さい。(お弁当に入れるミニタイプは不可です。) ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	京都市地域 リハビリ テーション 推進セン ター  4階ADL室	5/7 (木)	各 6名
5/21 (木)				5/14 (木)	
5/25 (月)	13:30~ 17:00	「トイレに行こう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  一言に「トイレに行く」と言っても、そのためには、尿意や便意を知覚・コントロールすることや、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さまざまな動作・認知能力が要求されます。 これら排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解し、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	京都市地域 リハビリ テーション 推進セン ター  4階ADL室	5/18 (月)	各 6名
5/27 (水)				5/20 (水)	
6/3 (水)	13:30~ 17:00	「お風呂に入ろう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な動きがたくさんあります。それぞれの動作に必要な身体機能を理解し、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	京都市地域 リハビリ テーション 推進セン ター  4階ADL室	5/27 (水)	各 6名
6/8 (月)				6/1 (月)	

\* 京都市身体障害者リハビリテーションセンターは、平成27年4月1日に機能再編し、京都市地域リハビリテーション推進センターへ改称しました。

# 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期) 研修内容一覧(講座)

日程	時間	テーマ、研修内容	会場	定員
10/23 (金)	13:30～ 15:00	<b>講座1 「発達障害とは」</b> 講師:京都市発達障害者支援センター「かがやき」 センター長 医師 村松 陽子 近年の調査で、発達障害の特徴を持つ人が身近にいることが分かつてきましたが、障害される能力や程度は人により様々であり、周りからも理解されにくい障害です。 発達障害とはどのような障害か。それぞれの障害の特性について知り、理解を深めます。	地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	各50名
	15:10～ 16:40	<b>講座2 「自閉症(アスペルガー症候群・高機能自閉症)のある方への支援の実際」</b> 講師:ストレイトコンサルティング 代表 駒田 健一 今回は、知的障害のあまりないタイプの自閉症の方の支援を事例を交えてお話しします。 「何回も言ってるのに全然聞いてくれない!」「よく分からないけど急に怒りだした」身近にいませんか?診断名のつかないまま大人になってしまう人もたくさんいます。もちろん知的障害のある自閉症の方の支援のヒントにもなります。		
10/29 (木)	13:30～ 15:00	<b>講座3 「いざという時のために～防災対策について～」</b> 講師:京都市行財政局・防災危機管理室 地域防災推進担当課長 人見 早知子 災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために備えていますか?京都市の防災計画等について、防災に対する考え方、市民として知っておくことなどをお話しします。	地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	各50名
	15:10～ 16:40	<b>講座4 「障害者虐待を防ごう！」</b> 講師:京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室 在宅福祉第二係長 阿部 孝史 あなたの周りは大丈夫?障害者虐待防止法の説明と早期発見・対応のポイントについてお話しします。		
11/5 (木)	13:30～ 15:00	<b>講座5 「大切ですよ！足のケア」</b> 講師:看護師 元フットケア指導士 造酒 錦代 足や足の爪病変に关心をもつことは、転倒予防につながります。また、足に優しい正しい靴を着用していますか?リハセンターで5年間フットケア外来に従事してきた経験のある看護師がフットケアについてお話しします。	地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	各50名
	15:10～ 16:40	<b>講座6 「知っていますか？コミュニケーション」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 心理判定員 富平 美智子 家庭、職場、友人関係など、社会生活を送るのに人間関係は切っても切れません。人間関係を円滑に進めるのに、コミュニケーションは重要なポイントです。御自分の性格や人間関係のクセを知って、普段のコミュニケーションを見直してみませんか?簡単なワークも体験していただきます。		

# 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期) 研修内容一覧(講座)



日程	時間	テーマ、研修内容	会場	定員
11/10 (火)	13:30～ 15:00	<b>講座7 「ことばに遅れのある人と話すときに ～押さえておきたい基本的なコト～」</b> 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 言語聴覚士 西田 奈都美 <p>いつの間にか使えるようになったことば。どうやって発達し、どんな原因で遅れが生じるのか…。ことばに遅れのある人達とコミュニケーションを取るコツについても考えてみましょう。</p>		
	15:10～ 16:40	<b>講座8 「失語症って何？～その理解と接し方～」</b> 講師:京都府言語聴覚士会 会長 言語聴覚士 瀧澤 透 <p>失語症の症状、失語症のある方の心理状態などの基本的な理解とそれを踏まえたコミュニケーションの取り方の工夫やツールについての理解を深めます。</p>		
		<b>講座9 「精神障害のある方への支援(1)」</b> 10:00～12:00 「認知症」 講師:医療法人三幸会 北山病院 看護介護部 部長 坂井 加津美 <p>認知症の研修では、医学的な認知症の基礎知識や薬物療法について、また、実際に認知症の方のケアを行うために必要とされるコミュニケーションの取り方や認知症の周辺症状(BPSD)の対応方法などについても説明させていただきます。</p>	地域リハビリテーション推進センター 各50名	
11/12 (木)	10:00～ 16:20	13:00～14:00 「発達障害」 講師:医療法人三幸会 北山病院 心療内科 医長 山田 美和 <p>支援者が、発達障害を有する青年期・成人期事例に対応する際に役立つ臨床的知識を得られるよう、自閉症スペクトラムを中心に、知的障害・素行障害や他の精神疾患合併事例の治療や対応のポイントも交えて解説します。</p>	1階 研修室	
		14:10～15:10 「精神障害者の生活支援」 講師:医療法人三幸会 第二北山病院 相談室 主任 平山 司 <p>精神科病院において実践している訪問による生活支援について、支援者としてどこに「視点」を置き、その人らしい生活を如何に支えていくかを事例を通じて理解を深める機会とします。</p>		
		15:20～16:20 「精神科リハビリテーション」 講師:医療法人三幸会 北山病院 リハビリテーション部 副部長 中田 和範 <p>精神科リハビリテーションの基本的な知識をおさえ、精神障害のある方、主に統合失調症に関して、認知記憶機能の観点から、障害の理解を進めることと合わせて、具体的な生活場面で起こっていることやその援助を示します。</p>		

# 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期) 研修内容一覧(講座)



日程	時間	テーマ、研修内容	会場	定員
委託研修 医療法人 三幸会	11/13 (金) 10:00～ 16:20	<p>講座10 「精神障害のある方への支援(2)」            10:00～12:00 「精神障害者の支援と回復する力」            講師:京都ノートルダム女子大学 心理学部            教授／学部長 河瀬 雅紀            精神の障害を抱えながらも社会と関わり回復しようとする力を生かし、そのプロセスで生じる困難にも対処しながら、その人らしい暮らしと自己実現ができるような支援のあり方を考えていきます。</p> <p>13:00～14:00 「神経症について」            講師:医療法人三幸会 北山病院            医師 加嶋 晶子            神経症とは19世紀末、フロイトが概念化した精神疾患群の一つです。20世紀以降、神経症治療のために精神分析が発展しました。しかし、1980年代以降は、生物学的な見地から神経症概念が再検討され、診断基準では「神経症」という言葉は使用されていません。けれども臨床場面ではとても重要な考え方であり、講義では神経症概念の生き立ち及び現代の精神医療における神経症の位置づけなどを考えていきたいと思います。</p> <p>14:10～15:10 「気分障害(感情障害)」            講師:医療法人三幸会 第二北山病院            医師 吉川 好美            気分障害(感情障害)の治療や対応のポイントも交えて解説します。</p> <p>15:20～16:20 「障害者雇用について」            講師:医療法人三幸会 就労支援センター・ヒューマンプラス            利用者・スタッフ            障害者雇用の促進における就労移行支援事業所で行っている支援と、実際に就職した当事者の体験談をお伝えします。一度は社会復帰を諦めた精神障害者が、職業リハビリテーションによって一般就労に至った過程をお聞きください。</p>	地域リハビリテーション推進センター 1階	各50名
	12/3 (木) 13:30～ 15:00	<p>講座11 「明日から活かせる！栄養バランスのコツ」            講師:京都市地域リハビリテーション推進センター            管理栄養士 前嶋 涼子            栄養バランスがとれた食事が良いとよく耳にしますが、いったいどんな食事のことでしょう？適正量の求め方や量と内容ともにバランスをとるためのポイントをお話します。</p>	研修室	30名
	15:10～ 17:00	<p>講座12 「腰痛からあなたを守るために！」            講師:京都市地域リハビリテーション推進センター            理学療法士 岩下 淳子            介護職場は腰痛のリスクが高い職場です。腰痛を防ぐために気をつけたいポイントや職場全体として取り組む腰痛予防対策についてお話しします。空き時間にできる簡単なストレッチ等も紹介しますので、動きやすい服装でお越しください。</p>	...	

## 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(講座)



日程	時間	テーマ、研修内容	会場	定員
委託研修 NPO法人 医療的ケ アネット  12/11 (金)	9:00～ 12:00	<b>講座13 「介護職のための医療的ケア研修」</b> 講師:NPO法人 医療的ケアネット 1 医療的ケアの考え方について(講義) 医療的ケアの中の一部の行為(口腔・鼻腔・カニューレ内の吸引、経管栄養の実施)が、2012年度に法制化されました。 医療的ケアを必要としている方たちは、食べること・飲み込むこと・呼吸すること・痰を出すことなどが困難な状態で、姿勢保持からさまざまな介助、吸引や経管栄養、気管カニューレや胃瘻の使用、呼吸器等の使用が必要な方たちです。 地域で生活するために必要な医療的ケアを、誰がどのように作り上げてきたか、それを踏まえて法制化の意味や現状を知ることで、私たちの仕事の意味を、改めて考える機会にしたいと思います。 2 医療的ケアの緊急対応とリスクマネージメントについて(講義・実習) 吸引や経管栄養を単独の行為としてとらえるのではなく、どのような状態の方たちが必要としているのかを知り、吸引や経管栄養を含めた呼吸や栄養についての一連の援助の中での理解を進めることで、緊急対応やリスクマネージメントを行えるように学習(一部・実技体験)します。	地域 リハ ビリ テー シヨ ン 研修 室 1階	50名



# 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(実習)

日程 実習No.	時間	研修内容	会場	定員	
11/19 (木) 実習①	13:30～ 17:00	実習1 「からだの動かし方研修」  ～介助等における基本的な動かし方について～ 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 浅田 和之・岩下淳子  理学療法士が専門的視点から介助動作について解説します。 寝返り、起き上がり、立ち上がり等の基本動作における体の動きを学び、介助するときにどのように対象者を動かせばお互い楽になるのか…を考えます。  ※各回とも、内容は同様  ※動きやすい服装でお越しください。	地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	各8名	
11/24 (火) 実習②					
11/27 (金) 実習③					
12/1 (火) 実習④					
12/10 (木) 実習⑤					
12/15 (火) 実習⑥					
12/18 (金) 実習⑦					
12/22 (火) 実習⑧					
1/14 (木) 実習⑨					
1/19 (火) 実習⑩					
1/22 (金) 実習⑪					
1/28 (木) 実習⑫					



11/11 (水) 実習⑬	8:45～ 11:30	実習2 「おはなし広場に入ろう！」  講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 言語聴覚士 西田 奈都美  事前のオリエンテーションの後、実際に、失語症のある方のグループ(6人程度)に参加し、 テーマに沿った会話のやり取りに加わります。グループ終了後、会話の工夫の仕方など、振り 返りを行うことで理解を深めたいと思います。  ※テーマは11/11「趣味を楽しむ」、11/18「音読・俳句を楽しむ」、11/28「よもやま話」 いずれか一つをお申し込みください。	地域リハビリテーション推進センター 1階 ミーティングルーム	各3名
11/18 (水) 実習⑭				
11/25 (水) 実習⑮				

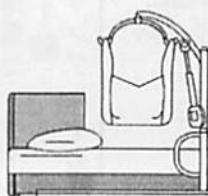
# 平成27年度京都市地域リハビリテーション推進研修(後期)

## 研修内容一覧(実習)

日程 実習No.	時間	研修内容	会場	定員
11/16 (月) 実習⑯	13:30～ 16:00	<b>実習3 「うまい自助具の活用で！」</b> ~自分でできることを増やしてQOLを高めよう～ 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 作業療法士 上垣 幸衛  ケガや病気で身体機能が低下し、やりにくくなった生活動作は、障害が残っても方法の工夫や福祉用具、自助具の活用で可能になることが多いものです。 実際に使用体験をしながら障害や自助具について理解を深めるほか、簡単な製作体験も実施します。	地域リハビリテーション推進センター 4階 A.D.L室	各6名
12/17 (木) 実習⑰		※各回とも、内容は同様		

12/8 (火) 実習⑯	13:30～ 16:00	<b>実習4 「その姿勢、大丈夫？？～崩れた座位への対処法あれこれ～」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 浅田 和之 / 作業療法士 上垣 幸衛 / 義肢装具士 高木 寛  介助の際に、上手く着座させることができなかったり、着座しても当事者自身は座り直しができないため座位が崩れやすく、何度も座り直すなどの対応を求められることがあります。最適な座位とは何か。座位の崩れの原因とその解決方法など実技を交えて理解を深めましょう。	地域リハビリテーション推進センター 3階 体育館	30名
--------------------	-----------------	---	-----------------------------	-----

12/14 (月) 実習⑯	13:30～ 16:30	<b>実習5 「知っていますか？！～介助用リフトの正しい使い方～」</b> 講師：京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 / 作業療法士 上垣 幸衛  介助用リフトやスリングシートには様々な種類があります。その選択や使い方を誤ると、利用者の負担になったり事故につながる恐れもあります。正しい選択や使い方を学び、より有効に活用できるよう実技を中心に行います。吊られる体験もあり、利用者の気持ちを感じてみましょう。	地域リハビリテーション推進センター 4階 A.D.L室	各6名
1/15 (金) 実習⑰		※各回とも、内容は同様		



## 平成27年度地域リハビリテーション推進研修アンケート結果

## 1 満足度の状況

		前期		後期	
		実数	構成比%	実数	構成比%
全体	有効回答数	548	100.0	252	100.0
	満足できました	476	86.9	223	88.5
	満足できなかった	50	9.1	15	6.0
	内容難解	19	3.5	1	0.4
	知りたい内容でない	10	1.8	3	1.2
	内容が簡単過ぎ	5	0.9	1	0.4
座学	その他	12	2.2	8	3.2
	どちらでもない	22	4.0	14	5.6
	有効回答数	502	100.0	162	100.0
	満足できました	431	85.9	141	87.0
	満足できなかった	50	10.0	9	5.6
	内容難解	19	3.8	1	0.6
実習	知りたい内容でない	10	2.0	3	1.9
	内容が簡単過ぎ	5	1.0	0	0.0
	その他	12	2.4	3	1.9
	どちらでもない	21	4.2	12	7.4
	有効回答数	46	100.0	90	100.0
	満足できました	45	97.8	82	91.1
	満足できなかった	0	0.0	6	6.7
	内容難解	0	0.0	0	0.0
	知りたい内容でない	0	0.0	0	0.0
	内容が簡単過ぎ	0	0.0	1	1.1
	その他	0	0.0	5	5.6
	どちらでもない	1	2.2	2	2.2

## 2 希望するテーマ

## (1) 疾病

- ・パーキンソンについて(複数)
- ・逆流性食道炎について
- ・高次脳機能障害(複数)
- ・高齢者特有の疾患・症例について
- ・認知症(多數)
- ・脳性まひについて

## (2) 介助等

- ・新しい介助方法が出てくるので参加して学びたい
- ・色々な場合の移乗の仕方、いろいろな介助の仕方(複数)
- ・歩行の介助(片麻痺の方の歩行両手引き)杖や歩行の活用など歩くをテーマにしたもの
- ・入浴介助 浴槽の入り方、出方 着脱について
- ・トイレ介助 排泄介助
- ・重度介護の方法など実習
- ・フットケアのやり方を実際に教えて欲しい
- ・白癖の処置・対応
- ・スキンケア・褥瘡処置(比較的浅いもの)
- ・体の動かし方研修をしてほしい
- ・臥位でのポジショニング。微妙な手の位置や足腰の位置など迷います
- ・腰痛予防

## (3) 訓練

- ・デイサービスでできる症状別の機能訓練、基礎的な機能訓練
- ・杖なしで歩きたいと思われてる方が多いです。介護職員でも気づける、わかる歩行のあれこれ高齢者歩行の特徴や歩き方の改善の何かが学べるとうれしい
- ・機能訓練
- ・リハビリになる体操など教えてほしい

## (4) 自助具・福祉用具

- ・簡単な自助具作成
- ・失敗しない自助具の購入
- ・自助具製作のワークショップがあれば参加してみたいです。
- ・リフト操作等(複数)
- ・電動車椅子体験

## (5)コミュニケーション

- ・構音指導
- ・SST
- ・知的障害のある人とのコミュニケーションの取り方
- ・対人関係
- ・認知症、介護現場で必要な技術、コミュニケーション技術
- ・言葉がけをより良くする方法
- ・コミュニケーションについて

## (6)食事・嚥下

- ・食事介助や口腔ケアについて
- ・嚥下障害のある方への食事介助の仕方(実技)
- ・口腔のよくつかえる体操

## (7)精神

- ・精神障害の相談機関
- ・統合失調症の方の対応法
- ・精神疾患の人への対応、関わり方、疾患別の対応の仕方(多数)
- ・精神障害のリハビリの実際について(複数)
- ・高齢者ウツの対応について
- ・精神保健分野の制度
- ・地域移行支援事業について、どのような人が対象なのか
- ・ピアサポートについて詳しく知りたい
- ・ひきこもりについて
- ・高次脳機能障害(複数)

## (8)発達障害・知的障害

- ・発達障害、自閉症など子どもに関する研修(複数)
- ・自閉症について(多数)
- ・自閉症のある人への具体的な支援について
- ・自閉症のある人とのコミュニケーションの取り方
- ・知的障害
- ・障害のある子どもの親が要介護になった場合の支援の仕方について
- ・療育現場での実際について
- ・発達について

## (9)虐待

- ・具体的な虐待事例、通報～解決、そして背景、それぞれの立場の人の思いなどを知りたい
- ・障害のある人からの暴力の時の事例、対処、解決策が見える意見交換の場があつたらいいなど

## (10)保険・年金など

- ・障害保険と介護保険
- ・65歳を迎えた障害者の介護保険へのスムーズな移行の方法
- ・生活保護について
- ・障害年金について
- ・社会福祉制度について(複数)

## (11)その他

- ・特別支援学校でしていること
- ・相談計画支援について
- ・介護予防サービスの地域支援事業への移行の具体的施策について

## 3 全体的な要望

- ・実習の枠を増やしてほしい
- ・期間をあけて日程を組んでもらったほうが参加しやすい
- ・具体的な支援、実践について知りたい
- ・中堅職員以上の内容もいろいろな分野で増やしてほしい
- ・以前受けたテーマでも機会があれば受けたい。再度勉強する機会になった。
- ・質問がでない時はあらかじめ用意しておいた方がいいのでは？
- ・スライドは全て資料にしてほしかった
- ・同様の内容の研修を複数回設定してほしい

平成27年度地域リハビリテーション推進研修職種別延べ受講者数

※網掛けは構成比が10%以上のもの

【前期実施分】

		ケースワー カー	保健 師	管理 者	支 援 員	生 活	ホ ーム ヘル パー	職 介 員 護	相 談 員	相 談 員 兼 生 活	看 護 師	能 看 護 練 習 師 指 導 員 兼 員 機	機 能 訓 練 員	マ ネ ジ ア ー ー	教 職 員	職 業 指 導 員	社会 福 祉 士	児 童 指 導 員	その 他	合 計
座学	受講者数	13	33	25	80	86	37	121	3	37	8	17	64	0	12	16	4	27	583	
	構成比	2%	6%	4%	14%	15%	6%	21%	0.5%	6%	1%	3%	11%	0%	2%	3%	1%	5%	100%	
実習	受講者数	0	0	0	6	1	16	0	1	4	9	0	1	7	0	0	4	0	49	
	構成比	0%	0%	0%	12%	2%	33%	0%	2%	8%	18%	0%	2%	14%	0%	0%	8%	0%	100%	
合計	受講者数	13	33	25	86	87	53	121	4	41	8	26	65	7	12	16	8	27	632	
	構成比	2.1%	5.2%	4.0%	13.6%	13.8%	8.4%	19.1%	0.6%	6.5%	1.3%	4.1%	10.3%	1.1%	1.9%	2.5%	1.3%	4.3%	100.0%	

【後期実施分】

		ケースワー カー	保健 師	管理 者	支 援 員	生 活	ホ ーム ヘル パー	職 介 員 護	相 談 員	看 護 師	機 能 訓 練 員	マ ネ ジ ア ー ー	教 職 員	社会 福 祉 士	養 成 研 修 担 当	リ ハ ト レ ー ナ ー	その 他	不 明	合 計
座学	受講者数	6	8	6	65	61	37	34	20	5	19	4	2	10	0	34	5	316	
	構成比	2%	3%	2%	21%	19%	12%	11%	6%	2%	6%	1%	1%	3%	0%	11%	2%	100%	
実習	受講者数	0	1	1	12	0	57	0	3	2	0	1	0	5	4	3	4	93	
	構成比	0%	1%	1%	13%	0%	61%	0%	3%	2%	0%	1%	0%	5%	4%	3%	4%	100%	
合計	受講者数	6	9	7	77	61	94	34	23	7	19	5	2	15	4	37	9	409	
	構成比	1%	2%	2%	19%	15%	23%	8%	6%	2%	5%	1%	0%	4%	1%	9%	2%	100%	

○座学については、前期・後期ともに相談員、ホームヘルパー、生活支援員の参加者が多い。

○実習については、後期が特に顕著であるが、介護職員の参加者が多く、当センターの実習内容が介護の現場において役立つものであることがうかがえる。

## 平成27年度 総合支援学校等教職員研修実施報告書

別紙5

講座名・担当講師	内 容	日 時	受講者数
西総合支援学校事例研修等 講師:理学療法士 岩下 淳子 講師:理学療法士 渋田 和之	A 「身体の動き」の指導に対する定期的な技術指導 B 「身体の動き」に関する疑問や質問に対する専門的なアドバイス	①平成27年 6月 9日 ②平成27年 7月 7日 ③平成27年 8月25日 ④平成27年 9月 1日 ⑤平成27年10月 6日 ⑥平成27年11月10日 ⑦平成27年12月 1日 ⑧平成28年 1月12日 ⑨平成28年 2月 2日 ⑩平成28年 3月 1日	4名 3名 3名 2名 3名 3名 3名 2名 3名 まとめ3名 10回 計 延べ29名
西総合支援学校事例研修等 講師:作業療法士 上垣 幸衛	A 身体面、運動面に関する指導方法 B 日常生活指導場面での支援の工夫	①平成27年 6月23日 ②平成27年 7月 14日 ③平成27年 9月 8日 ④平成27年10月13日 ⑤平成27年12月15日 ⑥平成28年 1月19日 ⑦平成28年 2月 9日 ⑧平成28年 3月 1日	4名 3名 3名 3名 3名 4名 2名 まとめ(出席者は上記⑩と同じ) 8回 計 延べ22名
呉竹総合支援学校事例研修 講師:作業療法士 上垣 幸衛	A 日常生活指導場面での支援の工夫	①平成27年12月 1日 ②平成27年12月 2日 ③平成27年12月 3日	5名 5名 4名 3回 計 延べ14名
西院小学校育成学級事例研修 講師:理学療法士 岩下 淳子 講師:作業療法士 上垣 幸衛	A 身体面、運動面に関する指導方法 B 教科学習における適切な支援	平成28年 1月12日	1名 1回 計 1名
肢体育成学級派遣講師・研究会 (西ブロック肢体育成学級研究会) 講師:理学療法士 岩下 淳子 講師:作業療法士 上垣 幸衛 講師:作業療法士 大嶋 孝司	A 生活上、学習上の課題に対する適切な支援方法 B 自立活動の指導における目標設定や適切な指導・支援の方法 C 教科学習における適切な支援方法	大蔵小学校 事前指導 平成27年 6月24日 研修事業 平成27年 7月 8日 宇多野小学校 事前指導 平成27年 8月28日 研修事業 平成27年 10月28日 嵯峨野小学校 事前指導 平成27年 11月 2日 研修事業 平成27年 11月24日 フォローアップ 平成28年 2月15日 西京極中学校 事前指導 平成27年 12月 7日 研修事業 平成27年 12月15日	2名 12名 3名 13名 3名 12名 6名 1名 13名 9回 計 延べ65名
肢体育成学級研究会 (呉竹ブロック肢体育成学級研究会) 講師:理学療法士 岩下 淳子 講師:作業療法士 上垣 幸衛	A 身体面、運動面に関する指導方法 B 日常生活指導場面での支援の工夫	①平成27年 9月 29日 ②平成28年 2月 16日	12名 9名 2回 計 延べ21名

## 平成27年度障害福祉サービス事業所等訪問支援事業実施報告書

別紙6

地域リハビリテーション推進センター 相談課

障害福祉サービス事業所等に従事する職員に対して、リハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図ることを目的として、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の訪問による助言・指導を実施したので報告します。

依頼施設	実施日時	訪問職員数	指導職員数	利用者数	指導内容	備考
京都市洛南身体障害者福祉会館 (社会福祉法人京都市身体障害者福祉センター) (生活介護事業所)	平成27年 5月 7日(火)	3	1	1	①訓練方法指導 ②食事での箸の使用	
	平成27年 5月20日(水)	2	1	1	①手指巧緻性訓練方法指導 ②ストレッチ方法指導 ③座位訓練方法指導	
	平成27年 5月29日(金)	2	1	1	①起き上がり、立ち上がり動作指導 ②歩行訓練方法指導 ③手指の筋力強化訓練方法指導	
	平成27年 6月19日(金)	2	2	1	①身体機能評価 ②座位姿勢評価 ③歩行訓練、介助方法指導	
	平成27年 6月22日(月)	2	1	1	①下肢機能評価 ②歩行訓練指導 ③歩行器の適応評価	
	平成27年10月16日(金)	2	1	1	①歩行能力評価 ②車椅子操作能力評価	
	平成28年 2月17日(水)	-	1	-	①自宅での生活動作 ②住環境整備	他の居宅介護事業所と合併支援相談支援事業所職員1名も出席
みぶ自立支援センター 「ふきのとう」 (生活介護事業所)	平成27年 5月14日(木)	3	4	2	①作業姿勢・作業内容評価、指導 ②トイレ動作、介助方法指導 ③歩行訓練方法指導	
	平成27年 8月 6日(木)	2	3	1	①身体機能、能力評価 ②歩行訓練方法指導 ③トイレ動作、介助方法指導	
	平成28年 3月 9日(水)	2	1	1	①身体機能評価 ②機能維持訓練方法指導 ③作業姿勢評価、調整 ④補助具(上肢、下肢)適合判断	
京都市紫野障害者授産所 生活介護事業「菜の花」 (社会福祉法人百合福祉協会) (生活介護事業所)	平成27年 5月28日(木)	3	4	2	①身体機能評価・歩行能力評価 ②車椅子からの移乗動作方法指導 ③トイレへの移乗動作、介助方法指導 ④食事動作評価、指導	
	平成27年 8月 4日(火)	2	4	3	①短下肢装具適合評価 ②車椅子座位姿勢評価、調整 ③電動車椅子の適合評価	
	平成27年10月20日(火)	2	6	2	①コミュニケーション能力評価、指導 ②車椅子、送迎車への移乗動作、介助方法指導	
	平成27年11月17日(火)	2	2	1	①食事動作、誤嚥評価、指導 ②発語評価、指導	
	平成28年 2月 2日(火)	2	2	2	①身体機能評価、歩行能力評価、指導 ②座位姿勢評価	
	平成28年 3月22日(火)	2	2	2	①車椅子の製作についての助言 ②車椅子用テーブルの角度調整	

依頼施設	実施日時	訪問職員数	指導職員数	利用者数	指導内容	備考
京都市山科障害者デイサービスセンター (社会福祉法人京極身体障害者福祉センター) (生活介護事業所)	平成27年 5月28日(火)	3	2	2	①身体機能評価 ②歩行能力評価 ③歩行介助方法指導	
	平成27年 9月 3日(木)	2	1	2	①車椅子座位姿勢評価 ②免語評価、指導	
	平成27年 9月 9日(水)	2	4	1	①身体機能評価 ②歩行能力評価 ③椅子の高さ調整	
	平成28年 2月 3日(水)	2	2	2	①身体機能評価 ②歩行能力評価 ③椅子の評価	
	平成28年 2月16日(火)	2	1	1	①身体機能評価 ②座位姿勢評価	
花水木(就労移行・就労継続支援事業B型)	平成27年 6月 1日(月)	3	1	3	①作業姿勢評価、指導 ②歩行能力評価 ③強化訓練方法指導	
テンダーハウス デイサービスセンター (社会福祉法人朝日会) (生活介護事業所)	平成27年 6月 4日(木)	3	2	2	①短下肢装具適合評価 ②車椅子座位姿勢評価、調整 ③トイレ動作方法指導 ④訓練方法指導 ⑤起居動作評価 ⑥入浴動作方法指導	
	平成27年 6月12日(金)	3	2	2	①トイレ動作方法指導 ②車椅子の適合評価、調整 ③作業内容評価、指導 ④コミュニケーション能力評価、指導 ⑤身体機能評価 ⑥下肢、手関節、手指ストレッチ指導	
	平成27年 7月 2日(木)	2	2	1	①車椅子座位姿勢評価、調整 ②短下肢装具評価 ③作業姿勢、作業内容評価、指導	
	平成27年 7月 27日(月)	2	1	1	①食事動作、誤嚥評価、指導	
	平成27年12月 3日(木)	1	1	1	①車椅子座位姿勢評価、指導	
	平成28年 2月 8日(月)	2	1	1	①短下肢装具評価 ②コミュニケーション能力評価、指導	他の生活介護事業所と合併支援
テンダーハウス (就労移行・就労継続支援事業B型)	平成27年 6月 4日(木)	3	1	1	①起き上がり、立ち上がり動作指導 ②入浴動作方法指導	
	平成27年 6月12日(金)	3	1	1	①作業姿勢・作業内容評価、指導	
京都市ヘルパー室 (居宅介護事業所)	平成27年 6月15日(月)	2	6	1	①トイレ動作方法、介助方法指導 ②入浴動作方法、介助方法指導 ③食事姿勢評価、調整	相談支援事業所職員3名も出席

依頼施設	実施日時	訪問職員数	指導職員数	利用者数	指導内容	備考
京都市山科身体障害者福祉会館 (社会福祉法人京都身体障害者福祉センター) (生活介護事業所)	平成27年 6月17日(水)	2	1	2	①トイレの移乗動作方法指導 ②起立訓練方法指導 ③作業内容評価、種目の拡大	
	平成27年 7月24日(金)	2	2	2	①訓練方法(筋トレ、ストレッチ)指導 ②寝返り、床上移動、介助方法指導 ③身体機能評価 ④グループ訓練の内容検討	
	平成27年 9月25日(金)	2	3	1	①身体機能評価、歩行能力評価 ②短下肢装具の適応 ③起立訓練方法指導 ④車椅子座位姿勢評価、調整 ⑤グループ訓練の内容検討	
	平成27年11月27日(金)	2	4	2	①身体機能評価 ②機能維持訓練方法指導 ③座位姿勢評価	
	平成28年 2月 8日(月)	-	1	-	①短下肢装具 ②コミュニケーション	他の生活介護事業所と合同支援
	平成28年 3月 7日(月)	2	3	3	①身体機能評価 ②維持訓練方法指導 ②車椅子座位姿勢の調整 ③歩行器を利用した歩行訓練 ④自助具を用いた生活動作の改善	
株式会社 ホップ松原 (居宅介護事業所)	平成27年 6月25日(木)	2	5	1	①訓練方法指導 ②歩行能力評価、指導	
株式会社 ハニーレモン (居宅介護事業所)	平成27年 7月15日(水)	2	11	1	①車椅子に関しての講習 ②各種移乗動作の紹介	
京都市伏見障害者授産所 (就労移行・就労継続支援事業型)	平成27年 7月22日(水)	2	2	1	①作業姿勢・作業内容評価、指導 ②食事動作・姿勢評価、指導 ③トイレでの移乗、介助方法指導	
京都市福祉サービス協会 (居宅介護事業所)	平成27年8月 24日(月)	2	2	1	①入浴動作方法指導 ②食事動作指導 ③歩行能力評価 ④家屋改修指導	相談支援事業所職員2名も出席
	平成27年10月13日(火)	2	2	1	①移乗介助方法指導	相談支援事業所職員3名も出席
西寺育成苑 (社会福祉法人京都育成の会) (生活介護事業所)	平成27年 10月07日(水)	3	2	2	①身体機能評価 ②歩行訓練、足関節可動域訓練指導 ③下肢補装具の適応評価 ④肘関節可動域訓練指導	
	平成27年 10月30日(金)	2	5	2	①身体機能評価 ②車椅子座位姿勢評価、調整 ③食事姿勢及び嚥下評価、指導	
	平成28年 2月23日(火)	2	2	1	①トイレへの移乗介助方法指導 ②床への移乗介助方法指導 ③作業姿勢評価、調整	
京都市伏見障害者デイサービスセンター (生活介護事業所)	平成27年10月26日(月)	2	3	2	①車椅子座位姿勢評価、調整 ②歩行器による歩行訓練指導 ③座位保持装置の適合評価	
特定非営利活動法人 障がい者はあととの会 (生活介護事業所)	平成27年11月11日(水)	2	6	3	①身体機能評価 ②機能維持訓練方法指導 ③移乗介助方法指導	
社会福祉法人 修光学園 (生活介護事業所)	平成27年11月30日(月)	2	3	1	①トイレ動作、介助方法指導 ②食事姿勢、嚥下評価、指導	
社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷 (生活介護事業所)	平成27年12月21日(月)	2	5	4	①身体機能評価 ②訓練内容、方法指導	

依頼施設	実施日時	訪問職員数	指導職員数	利用者数	指導内容	備考
株式会社 都精舎 居宅介護事業所 サンライズ (居宅介護事業所)	平成27年12月24日(木)	2	2	1	①移乗動作、介助方法 ②住環境整備	他の居宅介護事業所と合図支援相談支援事業所職員1名も出席
京都生活共同組合福祉事業部 ホームヘルプサービスセンター (居宅介護事業所)	平成27年12月24日(木)	-	2	-	①移乗動作、介助方法 ②住環境整備	"
訪問介護まごのて東山 (居宅介護事業所)	平成28年 1月 4日(月)	-	1	-	①ポータブルトイレ移乗動作 ②住環境整備	相談支援事業所職員1名も出席
株式会社 悅愛 つばき自立支援事業所 (居宅介護事業所)	平成28年 1月 4日(月)	2	1	1	①ポータブルトイレ移乗動作 ②住環境整備	"
	平成28年2月9日(火)	2	1	1	①ポータブルトイレ移乗動作、介助方法指導 ②入浴動作方法、介助方法指導	相談支援事業所職員1名も出席
京都市若杉学園 (生活介護事業所)	平成28年 1月29日(金)	1	19	1	①バスの昇降方法指導	
京都市紫野障害者授産所 (就労移行・ 就労継続支援事業白型)	平成28年2月2日(火)	2	1	1	①身体機能評価・歩行能力評価 ②車椅子、トイレへの移乗動作 ③食事動作評価、指導	
	平成28年 3月22日(火)	2	1	2	①歩行能力評価 ②短下肢器具の適応判断 ③作業姿勢、作業内容評価	
京都市ライトハウス らくらく (生活介護事業所)	平成28年2月12日(金)	2	2	1	①車椅子の製作についての助言	
有限会社つぼみ 居宅介護事業所 夢どりーむ (居宅介護事業所)	平成28年2月17日(水)	2	1	1	①自宅での生活動作 ②住環境整備(トイレ)	他の生活介護事業所と合図支援相談支援事業所職員1名(再掲)も出席
社会福祉法人みやこ みやこ壬生作業所 (生活介護事業所)	平成28年2月29日(月)	2	5	1	①歩行能力評価、指導 ②短下肢器具の指導 ③トイレ動作方法評価、指導 ④入浴動作の介助方法指導 ⑤住宅改修指導	
特定非営利活動法人 高次脳機能障害支援 つくしの会 (生活介護事業所)	平成28年3月14日(月)	2	1	1	①身体機能評価 ②歩行能力評価 ③起居動作指導	
愛媛デイサービスセンター (生活介護事業所)	平成28年 3月28日(月)	2	1	1	①身体機能評価 ②訓練方法	
29箇所	68回	124	164	86		

## 高次脳機能障害者支援センター相談支援の状況(平成27年7月～3月)

別紙7

## 【1 相談状況】

実相談件数		実数										構成比 %									
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
		75	22	26	24	18	18	24	18	251	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
内容別状況	障害該当かどうか	16	3	8	2	4	5	2	4	44	21.3	13.6	30.8	8.3	22.2	27.8	8.3	0.0	15.4	17.5	
	家族の対処方法	13	3	2	3	1		2	1	33	17.3	13.6	7.7	12.5	5.6	0.0	8.3	5.6	30.8	13.1	
	診察	4	1		3	1			1	11	5.3	4.5	0.0	12.5	5.6	0.0	0.0	5.6	3.8	4.4	
	入退院	0	0		1			1		2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.8	
	リハビリ希望	8	1	3	3	2	1	4	6	31	10.7	4.5	11.5	12.5	11.1	5.6	16.7	33.3	11.5	12.4	
	当センター施設利用	14	6	7	5	3	5	11	6	63	18.7	27.3	26.9	20.8	16.7	27.8	45.8	33.3	23.1	25.1	
	日中活動	1	2		1	1	3	1		9	1.3	9.1	0.0	4.2	5.6	16.7	4.2	0.0	0.0	3.6	
	在宅福祉サービス	4	1						1	6	5.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	2.4	
	就労	3	3	4	3	1	3	2		3	22	4.0	13.6	15.4	12.5	5.6	16.7	8.3	0.0	11.5	8.8
	復学	0	1				1			2	0.0	4.5	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	
相談者別状況	運転免許取得	0	0						1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.4	
	各種制度（手帳、年金等）	3	1		1	3			2	1	11	4.0	4.5	0.0	4.2	16.7	0.0	0.0	11.1	3.8	4.4
	その他	9	0	2	2	1	1	1		16	12.0	0.0	7.7	8.3	5.6	5.6	4.2	0.0	0.0	6.4	
	本人	13		5	3	3	2	2	3	4	35	17.4	0.0	19.3	12.5	16.7	11.1	8.3	16.7	15.4	14.0
支援者別状況	家族	39	13	10	6	6	5	8	4	9	100	52.1	59.2	38.5	25.0	33.4	27.8	33.4	22.2	34.7	39.9
	支援者等	23	9	11	15	9	11	14	11	13	116	30.7	40.9	42.3	62.5	50.0	61.1	58.3	61.1	50.0	46.2
	医療機関	6	5	4	8	5	5	5	6	5	49	8.0	22.7	15.4	33.3	27.8	20.8	33.3	19.2	19.5	
支援者別状況	支援者	10	2	7	4	1	1	6	3	4	38	13.3	9.1	26.9	16.7	5.6	5.6	25.0	16.7	15.4	15.1
	行政機関	3	2		3	1	4	1	2	2	18	4.0	9.1	0.0	12.5	5.6	22.2	4.2	11.1	7.7	7.2
	その他	4					2	1	2	0	2	11	5.3	0.0	0.0	11.1	5.6	8.3	0.0	7.7	4.4
方法	電話	69	21	20	21	17	17	18	16	20	219	92.0	95.5	76.9	87.5	94.4	94.4	75.0	88.9	76.9	87.3
	来所	6	1	6	3	1	1	6	2	6	32	8.0	4.5	23.1	12.5	5.6	5.6	25.0	11.1	23.1	12.7

#### 【内容別相談「その他」の内容】

- ・通院介助ボランティア紹介
  - ・生活訓練指導のDT紹介
  - ・4歳児の検査相談（発達障害、高次脳機能障害）
  - ・介護施設利用者から状態改善により退所する場合の対応
  - ・支援センターの事業内容
  - ・情報発信についての問合せ（登録によるメールでのお知らせ送付希望）

#### 【支援者等内訳「その他」の内容】

- ・職場の同僚、知人及び不明
  - ・弁護士

## 【2 支援狀況】

#### 【支援件数「その他」の内容】

- ・施設見学、リーフレット、他の疾患に係る問合対応

### 【3 繼続支援の状況】

新規要継続支援相談	実数										構成比 %									
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
新規要継続支援相談	2	9	2	3	2	3	3	4	9	37	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	100
支援結果（目標達成等）	0	0	1	3	2	1	2	1	2	12	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	32.4
地域生活移行（病院⇒地域）					1				1		【支援結果「その他」の内容】									
就労（一般、福祉）							1			1	・支援事項の消滅	4								
日常生活支援（サービス利用等）								1		1	・支援対象非該当確認	1								
確定診断										2	・長期間連絡なし	2								
復学（小児）					1					1										
その他					1	2	1	1		7										
月末現在対象相談数	2	11	12	12	12	14	15	18	25		100	100	100	100	100	100	100	100	100	
地域生活移行（病院⇒地域）		1	1	1	0	0		1	1		0.0	9.1	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	4.0	
就労（一般、福祉）復職	1	4	6	4	3	3	2	4	9		50.0	36.4	50.0	33.3	25.0	21.4	13.3	22.2	36.0	
日常生活支援（サービス利用等）	1	4	2	4	5	7	9	9	9		50.0	36.4	16.7	33.3	41.7	50.0	60.0	50.0	36.0	
確定診断		1	1	1	2	2	2	2	3		0.0	9.1	8.3	8.3	16.7	14.3	13.3	11.1	12.0	
復学（小児）		1	2	2	2	2	2	2	3		0.0	9.1	16.7	16.7	16.7	14.3	12.0	11.1	12.0	

入門講座・専門研修の参加者の内訳

	入門講座1クール目				入門講座2クール目				入門講座		専門研修	
	1回目	2回目	3回目	小計	1回目	2回目	3回目	小計	参加合計	構成比	参加人数	構成比
当事者・家族	19	24	24	67	13	20	17	50	117	33.1		
障害福祉サービス事業所等	19	31	31	81	26	25	26	77	158	44.6	25	23.8
介護保険関連事業所	3	3	4	10	2	2	3	7	17	4.8	20	19.0
就労関連事業所				0	1	2	2	5	5	1.4	3	2.9
医療機関		2		2	2	4	3	9	11	3.1	15	14.3
福祉事務所・保健センター				0	1	2	1	4	4	1.1	18	17.1
その他	2	1	1	4	2	1	1	4	8	2.3		0.0
当センター職員	8	8	9	25	2	1	6	9	34	9.6	24	22.9
合計	51	69	69	189	49	57	59	165	354	100.0	105	100.0

参考:周知範囲について

<入門講座>

- ・障害福祉サービス事業所、就労関係機関、各区福祉事務所、保健センターに周知
- ・2クール目は、上記に加え、広報発表し、市民しんぶんに掲載した。

<専門研修>

- ・障害福祉サービス事業所、就労関係機関、各区福祉事務所、保健センターに加え、医療機関、地域包括支援センターに案内発送し、介護保険課のHPに掲載した。

## 報告2 平成28年度京都市地域リハビリテーション推進事業及び高次脳機能障害者支援の取組について

平成28年度においても、引き続き、①地域リハビリテーションのより一層の推進と、②高次脳機能障害者支援に重点を置き、次のように取り組んでいく。

### 1 地域リハビリテーションの推進

#### (1) 研修・指導

##### ア 地域リハビリテーション推進研修事業（別紙9）

引き続き、市内の福祉サービス事業所等に勤務する職員に対して、リハビリテーションをはじめ福祉・介護サービスに関する知識及び技術の向上を図るために研修を実施する。

平成27年度の受講者のアンケート等も参考にしながら、実習の回数を増やすとともに、幅広いテーマに取り組んでいる。

後期の専門研修については、受講者のニーズにより即したカリキュラムを取り入れるよう計画している。

#### <研修の実施状況>

		平成27年度	平成28年度	増減
前期 (初任者向け)	実施講座数	18	23	5
	うち座学	10	11	1
	うち実習	8	12	4
	延べ受講者数	632	(※) 239	—

注) 平成28年度の延べ受講者数は、5月実施分までの受講者数

#### 【関連資料】

(別紙9) 平成28年度地域リハビリテーション推進研修（初任者向け）研修内容一覧

#### イ 総合支援学校等教職員研修事業

引き続き、京都市内の総合支援学校、肢体育成学級に従事する教職員のリハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図るため、各校の希望に沿った研修を実施する。

#### ウ 障害福祉サービス事業所等訪問支援事業

引き続き、地域リハビリテーション推進センターの専門職員（理学療法士等のセラピスト）を市内の生活介護事業所等へ派遣し、事業所職員に対して、利用者の身体状況の把握や機能維持及び適切な介助・支援の方法等について助言を行う。

また、この度作成した「障害者福祉サービス利用者支援事例集」（別冊資料1）も活用し、事業のPRも積極的に行う。（平成28年5月25日の「平成28年度障害福祉サービス事業所等に係る集団指導」の場において、約800事業所に対し、事例集を配布し、事業のPRを行った）

<障害福祉サービス事業所訪問実施状況>

(各年度とも5月末現在)

		平成27年度	平成28年度	増減	備考
生活介護	訪問箇所数	4	4	0	
	延訪問回数	6	4	△2	
	延利用者数	9	7	△2	
就労移行・ 就労継続支 援	訪問箇所数	-	-	-	
	延訪問回数	-	-	-	
	延利用者数	-	-	-	
居宅介護	訪問箇所数	-	-	-	
	延訪問回数	-	-	-	
	延利用者数	-	-	-	
計	訪問箇所数	4	4	0	
	延訪問回数	6	4	△2	
	延利用者数	9	7	△2	

エ 電動車椅子講習会

引き続き、電動車椅子を利用している方、これから利用を考えている方やその介助者、さらにケアマネジャーなど利用に関する相談を受ける立場にある方を対象に、電動車椅子の適切な操作方法等について実技を中心とした講習会を実施し、安全な利用の促進を図る。

平成27年度は同じ月に2回実施したが、平成28年度は実施月を分ける等、より多くの方に参加いただけるよう工夫をする。

オ からだの動きに障害のある方の体力測定会＆からだの相談会

引き続き、自身の体力を確認し、身体機能の維持・向上及び社会参加の促進を図ることを目的として実施する。

今年度は体力測定会終了後に「からだの相談会」を開催する等、よりたくさんの市民に参加いただけるよう事業の実施内容等について検討を進める。

カ 関係機関等への講師派遣研修

引き続き、関係機関等からの依頼に基づき、専門職員等による講師派遣を行い、リハビリテーションに関する知識及び技術の向上を図る。

(2)啓発事業

ア おはなし広場

引き続き、言語訓練を終了した言語に障害のある方について、自信をもって社会参加できるよう、言語聴覚士が中心となって語らいの場（おはなし広場）を提供し、社会活動への参加促進を図る。

これまでセンター利用者を中心に実施してきたが、高齢化等により参加人数が減少傾向にあるため、今後の事業の在り方等について、検証を行う必要がある。

#### イ 失語症のある方の相談支援事業【新規】(別紙10)

失語症は外からは見えにくいうえに、本人が自ら問題を訴えることも難しく、社会的認知度の低い障害で、医療機関での訓練終了後、失語症のある方が利用できるサービスもその情報も不足しがちである。

そこで、失語症のある方やその家族、支援者に対して、言語聴覚士が中心となり、個別相談やグループワークを実施し、障害の理解を深めたり、利用できる社会資源（就労、デイサービス、失語症友の会、おはなし広場など）の紹介と利用のための橋渡しをし、失語症のある方の社会参加促進を図る。

【関連資料】

(別紙10) 失語症のある方の相談支援事業チラシ

#### ウ 地域リハビリテーション交流セミナー

引き続き、医療、福祉のみならず多くの市民の参加を求め、障害のある方とふれあうことにより、障害の有無に関わらず地域で豊かに生活できる環境づくりについて考える機会として開催する。

従来は年1回開催であったが、平成27年度には2回開催しており、平成28年度についても各圏域の障害者地域生活支援センターとの共同開催も含め、3回の開催を予定している。

#### エ センター機関紙「リハエール」の発行(別冊資料3)

引き続き、当センター事業に関する情報等を発信するため発行する。5月に第3号を発行したところであり、今後も概ね3箇月に1回の頻度で発行を予定している。

【関連資料】

(別冊資料3) センター機関紙「リハエール」(第3号)

## 2 高次脳機能障害者支援

### (1) 高次脳機能障害者支援センター

#### ア 個別支援

##### ① 相談支援

引き続き、高次脳機能障害の確定診断を受けているか否かに関わらず、脳損傷による疾患が疑われる場合には、当事者本人や家族、事業所職員等支援者からの問合せに対して、隨時、電話や来所により相談を受ける。

相談内容に応じて、高次脳機能障害の確定診断や作業を通じて障害の状態等に関する評価（作業評価）等を行い、今後の支援につなげる。

相談や評価の際に施設利用が適当と認められた方については地域リハビリテーション推進センター内に設置している障害者支援施設を積極的に活用する。

なお、支援に当たっては、地域生活や社会活動の参加が円滑となるよう、障害福祉サービス事業所等関係機関と連携する。

##### ② 当事者・家族交流会

試行実施として、平成28年3月から開始したところであり、毎月第2金曜日に実施している。

試行実施が終了する平成29年3月までの間に、その後の交流会の持ち方や他の家族会との関係等について検討する。

#### イ 事業者等への支援

##### ① 研修

###### 【入門講座】（別紙11）

引き続き、高次脳機能障害のある方の家族や支援者の方が高次脳機能障害の基礎知識や対応方法等を学ぶ機会として入門講座を開催する。

平成27年度は3回シリーズで2クール実施したが、平成28年度は新たに「失語症」と「就労」の2テーマを加え、5回シリーズで2クール実施する。

また、平成28年度からは当事者、家族及び支援者だけでなく、高次脳機能障害に関心がある方であればどなたでも受講いただけるようにした。

＜平成28年度の予定＞※定員はいずれも70名

内 容		開催日	
		前期日程	後期日程
第1回	発症からのステップ（5月20日は71名参加）	5月20日	11月18日
第2回	注意障害・記憶障害・遂行機能障害	6月17日	12月16日
第3回	社会的行動障害	7月15日	1月20日
第4回	失語症（新規に追加）	8月19日	2月17日
第5回	就労（新規に追加）	9月16日	3月17日

【関連資料】

(別紙11) 平成28年度高次脳機能障害入門講座チラシ

【専門研修】

引き続き、高次脳機能障害のある方やその家族を支援する保健・医療・福祉関係機関の職員等を対象に、専門知識及び支援技術等の向上を目的に専門研修を実施する。

<平成28年度の予定>

内 容	開催日
テーマ「生活の場で活かそう！ ～注意障害・記憶障害への支援テクニック～」(仮称) <input type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 体験グループワーク <input type="radio"/> 事例報告	10月5日

② 支援者のためのステップアップ研修【新規】(別紙12)

入門講座を受講された方や同程度の知識をお持ちの支援者を対象に、支援者間の交流や実践的な支援方法を身につけることを目的に、支援者間の情報交換やモデルケースのグループ検討等を行う。

<平成28年度の予定>※定員はいずれも40名

内 容	開催日	
	1クール目	2クール目
第1回 講義と支援者交流	7月22日	1月13日
第2回 モデルケースの支援検討①	8月26日	2月3日
第3回 モデルケースの支援検討②	9月30日	3月10日

【関連資料】

(別紙12) 高次脳機能障害支援者のためのステップアップ研修チラシ

ウ 普及・啓発

引き続き、ホームページやフェイスブックを利用し、研修の講座案内や高次脳機能障害に関する情報の発信等を行う。

(2) 障害者支援施設

引き続き、適切な施設運営につとめる。当施設においては、まだ取組の遅れている高次脳機能障害者支援の分野において福祉サービスを提供する施設の立場から、民間事業者の先導的役割を果たすことをその責務として公設公営で運営している。

高次脳機能障害のある方に特化した障害者支援施設として1年が経過したところであり、訓練・支援プログラムの確立、民間事業者への還元等の先導的役割を果たすため、なお一層の取組の蓄積を進める必要がある。

<訓練別利用者の状況>

	総数	入所支援
総数	26	7
生活訓練	11	2
機能訓練	15	5

(平成28年5月末現在)

<平成28年度利用状況月別推移>

	4	5	計
新規 利用	自立訓練	0	2
	入所支援	0	1
利用 終了	自立訓練	2	0
	入所支援	1	1
月末現在数	24	26	25.0
入所支援	7	7	7.0
短期入所延人数	4	5	9
実利用者数	2	3	5

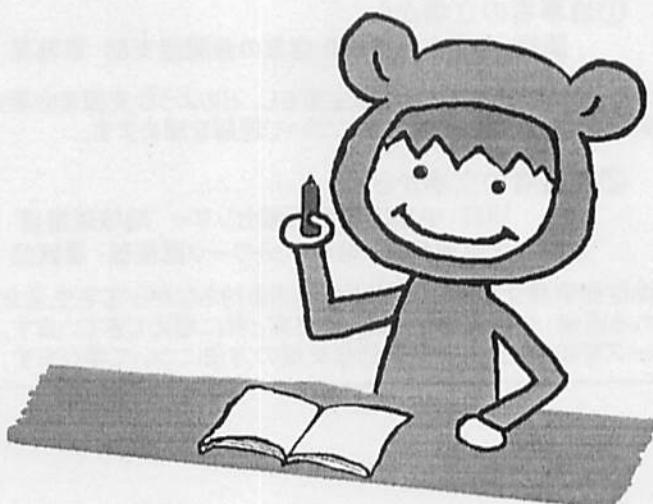
注)「月末現在数」の「計」は「月平均値」



平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(初任者向け)  
研修内容一覧(講座)

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
5/17 (火)	5/10 (火)	13:30 ～ 15:00	講座1 「地域リハビリテーションとは ～国際生活機能分類(ICF)とリハビリテーション～」  高齢者や障害のある人が住みなれたところで安全にいきいきと生活が送れるよう支援することが地域リハビリテーションの理念です。この理念の基盤をなすICFとリハビリテーションについての基本的な理念、社会的リハビリテーションの目的や意味について理解を深める研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター	各64名
		15:20 ～ 16:40	講座2 「京都市地域リハビリテーション推進センターの取り組み」  講師:京都市地域リハビリテーション推進センター所長 西尾 健 平成27年4月に機能再編し、地域リハビリテーションのより一層の推進と新たなニーズである高次脳機能障害者支援に重点を置いた取り組みについてお話しします。		
5/27 (金)	5/20 (金)	13:30 ～ 15:00	講座3 「精神障害について」  講師:京都市こころの健康増進センター 所長 波床 将材 精神障害の特性、統合失調症、うつ病、認知症、依存症、神経症などの精神疾患に関する基本的な知識を習得する研修です。	京都市地域リハビリテーション推進センター	各64名
		15:20 ～ 16:40	講座4 「精神障害のある方への支援について」  講師:京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」所長 藤井 弘 中部障害者地域生活支援センターの支援の内容を説明し、精神障害のある方とどのように向き合って支援するのか、事例をmajieてお話しします。		
5/31 (火)	5/24 (火)	13:30 ～ 14:30	講座5 「難病患者と取り巻く社会環境～難病の施策・サービスについて～」  講師:京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課 職員 山下 智子 難病の施策・サービスについて基本的な内容を学ぶ研修です。難病医療相談事業や保健センターでの訪問等についてもお話しします。	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階研修室	各64名
		14:50 ～ 16:50	講座6 「難病患者のニーズと支援方法について」  ①当事者の立場から 講師:全国多発性硬化症友の会関西支部 事務局 河合 美佐 難病のある方が実際にどのような生活をし、どのような支援を必要としているのか、難病患者のニーズと支援方法について理解を深めます。  ②支援者の立場から 講師:中京区在宅医療センター 地域連携室 難病相談員 京都大学附属病院 地域ネットワーク医療部 看護師 濑津 幸重 筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの難病を持ちながら在宅生活を営む方々が、提供される医療・介護等のサービスの充実と共に増えてきています。難病患者の生活ニーズを知るとともに、具体的な支援の方法について学びます。		

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
6/2 (木)	5/26 (木)	13:30 ～ 15:00	講座7 「高齢者保健福祉サービスの概要について」 講師:京都市御池老人デイサービスセンター 施設長 秋山 博之 介護保険制度を中心に高齢者の保健福祉施策について、知っておくべき基本的な知識を習得する研修です。	京都 市地 域リ ハビ リテ ー シヨ ン推 進セ ンタ ー 1階 研修 室	各 64 名
		15:20 ～ 16:50	講座8 「障害福祉サービスの概要と実際の支援について」 講師:京都市障害者地域生活支援センター「らくなん」「らくとう」 所長 酒伊 良行 障害者総合支援法による障害福祉サービスの概要と、相談から支援施策利用に繋げる過程について事例を通して学ぶ研修です。		
6/8 (水)	6/1 (水)	13:30 ～ 16:30	講座9 「高次脳機能障害について」 ①「高次脳機能障害とは」 講師:京都大学大学院医学研究科 助教 上田 敬太 脳損傷後に現れる認知機能の低下である高次脳機能障害。障害特性、支援のポイント、今後の課題など基本的な理解を深めます。 ②A「京都市高次脳機能障害者支援センターの取組」 講師:京都市高次脳機能障害者支援センター 係長 南部 美紀子 当センターの専門相談等の支援について、事例をまじえて紹介する。また、高次脳機能障害のある方の支援に関わる制度の概要を説明します。 B「京都市地域リハビリテーション推進センター障害者支援施設の取組」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター支援施設課 生活訓練係長 萩原 由美子 当施設の対象、利用の流れ、訓練内容などを紹介します。	京都 市地 域リ ハビ リテ ー シヨ ン推 進セ ンタ ー 1階 研修 室	各 64 名
6/10 (金)	6/3 (金)	13:30 ～ 15:00	講座10 「知的障害について～身体障害との関連～」 講師:京都市児童福祉センター 発達相談所長 宮野前 由利 知的障害とは何か、その原因となる疾患にはどのようなものがあるのか、また日常生活で気をつけることなどについて実際のケースも交えながらお話します。	京都 市地 域リ ハビ リテ ー シヨ ン推 進セ ンタ ー 1階 研修 室	
		15:20 ～ 16:50	講座11 「知的障害のある方への支援の実際」 講師:みやこ西院作業所 支援員 亀村 友紀 知的障害のある方達の就労支援事業所で、どのようなことに工夫、配慮しながら支援しているのか。実際の事例を通して学びます。	京都 市地 域リ ハビ リテ ー シヨ ン推 進セ ンタ ー 1階 研修 室	



平成28年度 京都市地域リハビリテーション推進研修(初任者向け)  
研修内容一覧(実習)



※申込多数の場合、初任者の方を優先し、受講をお断りする場合があります。

日程	申込締切	時間	研修内容	会場	定員
5/23 (月) 実習①	5/9 (月)	13:30 ～ 17:00	実習1 「お出かけしよう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  「外出する」という事は、介護予防やQOL向上の効果もあり重要なことです。 外出前の身だしなみについての話や、歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、電動車椅子について体験を交えて学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	3階 体育館	各6名
6/15 (水) 実習②	6/1 (水)				
5/24 (火) 実習③	5/10 (火)	13:30 ～ 17:00	実習2 「ご飯を食べよう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 作業療法士 上垣 幸衛 言語聴覚士 西田 奈都美  食事は生命維持のための栄養補給の他、生きがいを感じる場、他者とのコミュニケーションの場として、重要な意味を持ちます。 今回は食事に関する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や、心理的側面、口腔ケア、コミュニケーションなどについて幅広く考えてみます。  ※カップに入ったゼリーとスプーンを持参して下さい。(お弁当に入れるミニタイプは不可です。) ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L室	各6名
6/23 (木) 実習④	6/9 (木)				
5/30 (月) 実習⑤	5/16 (月)	13:30 ～ 17:00	実習3 「トイレに行こう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  一言に「トイレに行く」と言っても、そのためには、尿意や便意を知覚・コントロールすることや、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さまざまな動作・認知能力が要求されます。 これら排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解し、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L室	各6名
6/24 (金) 実習⑥	6/10 (金)				
6/3 (金) 実習⑦	5/20 (金)	13:30 ～ 17:00	実習4 「お風呂に入ろう！」 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下 淳子 作業療法士 上垣 幸衛  入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な動きがたくさんあります。それぞれの動作に必要な身体機能を理解し、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。  ※各回とも、内容は同様です。動きやすい服装でお越しください。	4階 A D L室	各6名
6/21 (火) 実習⑧	6/7 (火)				
5/19 (木) 実習⑨	5/5 (木)		実習5 「からだの動かし方研修」  ～介助等における基本的な動かし方について～ 講師:京都市地域リハビリテーション推進センター 理学療法士 岩下淳子		
6/14 (火) 実習⑩	5/31 (火)	13:30 ～ 16:45			
6/17 (金) 実習⑪	6/ 3 (金)		理学療法士が専門的視点から介助動作について解説します。 寝返り、起き上がり、立ち上がり等の基本動作におけるからだの動きを学び、介助するときにはどのように対象者を動かせばお互い楽になるのか…を考えます。 *各回とも、内容は同様 *動きやすい服装でお越しください	1階 研修室	各8名
6/28 (火) 実習⑫	6/14 (火)				

# 失語症のある方の相談支援事業

ことばの障害でお困りの方の支援をします

## ☆失語症とは・・・

脳出血等の脳血管疾患の後遺症で物の名前が出てこない、言おうと思ったことをうまく話せない、音は聞こえるのに言葉が理解できないなどの症状があります。



① “地域ガエル”は『地域に帰る』をモットーにしている当センターのキャラクターです。

## ☆こんなことでお困りの方

- ・ 退院後、復職・就労したいが失語症があってもうまくできるだろうか？
- ・ ことばに不安があるが、どこかに交流したり社会参加したりできるところはないかな？
- ・ 家族が失語症になったが、どのように接すればうまくコミュニケーションが取れるのだろうか？
- …などさまざまな不安をお持ちの方

## ☆こんなことをします

- ・ 言語聴覚士を中心となって、利用できるサービスと一緒に考えます。
- ・ サービスの利用先へ失語症のことを説明するお手伝いをします。
- ・ ご家族のより良いコミュニケーション方法などを検討します。
- ・ 必要に応じて少人数でのグループワーク（失語症に関する評価や、失語症についての理解を深めるため、適切なコミュニケーション手段を使って、少人数での会話の練習）を実施することもあります。

## ☆対象

市内在住の失語症のある方、そのご家族、支援者

## ☆受付

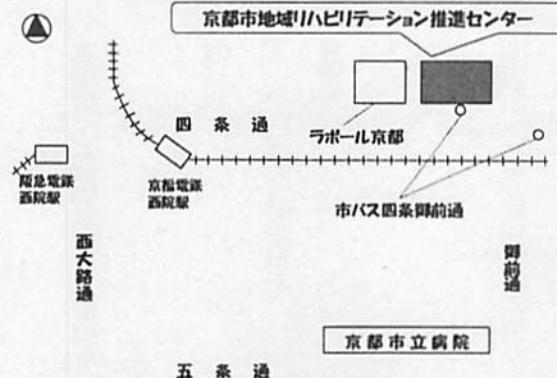
お電話または相談窓口へ直接お越しください。

電話：075-823-1666

来所：中京区壬生仙念町30

京都市地域リハビリテーション推進センター

失語症相談窓口（1階相談課内）



ことばの障害には失語症以外にもさまざまなものがあります。うまく話せない、言っていることがよく分からぬ…、でも、失語症かどうか分からないという場合もお気軽にお問合せください。相談だけでもお受けします。

市バス 四条御前通 下車すぐ
阪急電鉄 西院駅から 徒歩約6分
京福電鉄 西院駅から 徒歩約3分

# 平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日	講座一覧	
平成28年	5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」	前期日程
	6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」	
	7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」	
	8月19日(金) 第4回 「失語症について」 (平成28年度から追加 NEW!)	
	9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」 (平成28年度から追加 NEW!)	
平成29年	11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」	後期日程
	12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」	
	1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」	
	2月17日(金) 第4回 「失語症について」 (平成28年度から追加 NEW!)	
	3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」 (平成28年度から追加 NEW!)	

※ 前期日程と後期日程の講座内容は同じです。講座内容の詳細については、裏面をご確認ください。

時 間:午前10時～午前11時  
 会 場:京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室(京都市中京区壬生仙念町30番地)  
 講 師:京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他

受講対象者:市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者  
 市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方 (平成28年度から追加 NEW!)

定 員:先着70名

参 加 費:無料

申込方法:別紙の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにてお申込みください。

(電話によるお申込みも受け付けます。)

※ 前期と後期で申込時期が異なりますので、ご注意ください。

申込締切:各開催日の2日前(ただし、定員に達し次第、締め切ります。)

## 【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター(京都市中京区壬生仙念町30番地)

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075) 823-1658 FAX : (075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く) 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinhoukinou-city-kyoto.jp>

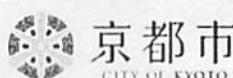
Facebook  : <https://www.facebook.com/koujinhoukinou.city.kyoto>



(ホームページ)



(Facebook)



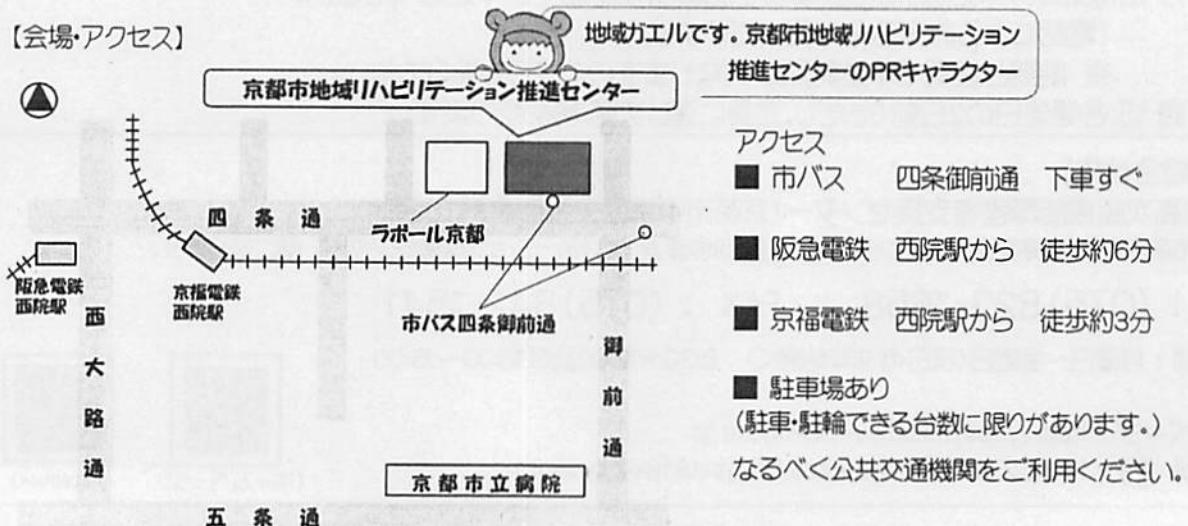
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター  
 (平成28年3月発行)  
 京都市印刷物 第275452号

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」の講座内容の詳細です。

講 座 内 容	開 催 日	
	前期日程	後期日程
第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したいこと等をお話しします。	平成28年 5月20日(金)	平成28年 11月18日(金)
第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。	平成28年 6月17日(金)	平成28年 12月16日(金)
第3回 「社会的行動障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。	平成28年 7月15日(金)	平成29年 1月20日(金)
第4回 「失語症について」 <u>(平成28年度から追加)</u> 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症。 失語症の症状、失語症のある方の心理状態などの基本的な理解とそれを踏まえたコミュニケーションの取り方の工夫やツールについてお話しします。	平成28年 8月19日(金)	平成29年 2月17日(金)
第5回 「就労に向けて」 <u>(平成28年度から追加)</u> 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、御本人や御家族及び支援者が、共通して知っておきたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。	平成28年 9月16日(金)	平成29年 3月17日(金)

※申込時期：前期日程分は平成28年4月1日から、

後期日程分は平成28年10月3日からお申込みを受け付けます。



# 平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

前期申込用

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日	内容
平成28年 5月20日(金)	<b>第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」</b> 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したこと等をお話しします。
平成28年 6月17日(金)	<b>第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要と、それに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 7月15日(金)	<b>第3回 「社会的行動障害について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要と、それに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 8月19日(金)	<b>第4回 「失語症について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症について、言語聴覚士から、失語症の概要とそれに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 9月16日(金)	<b>第5回 「就労に向けて」</b> 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、御本人やご家族及び支援者が、共通して知りたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。

時 間：午前10時～午前11時

会 場：京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室（京都市中京区壬生仙念町30番地）

講 師：京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他

受講対象者：市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者

地域がエルです。

市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方

定 員：先着70名

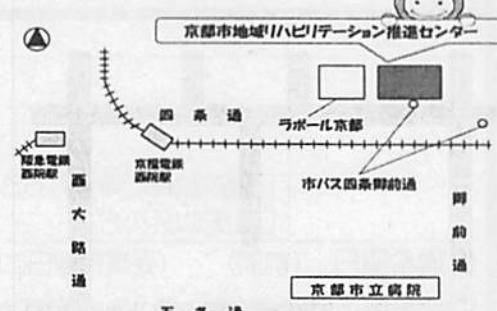
参 加 費：無料

申込方法：裏面の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにて

お申込みください。（電話によるお申込みも受け付けます。）

前期日程分の申込は、平成28年4月1日から受け付けます。

申込締切：各開催日の2日前



## 【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市中京区壬生仙念町30番地）

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075) 823-1658 FAX : (075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く） 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinoukinou-city-kyoto.jp>

Facebook ：<https://www.facebook.com/koujinoukinou.city.kyoto>



(ホームページ)

(Facebook)

# 平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」前期 申込書

必要事項をご記入のうえ、該当する□にチェック、受講希望日に○をしてください。

ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

※前期日程分の申込は、平成28年4月1日から受け付けます。各講座の2日前までにお申込みください。

ただし、定員に達し次第締め切りますので、お早目にお申込みください。

**FAX (075) 842-1541**

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)  
8:30～12:00及び13:00～16:00

# 平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

後期申込用

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日	内容
平成28年 11月18日(金)	<b>第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」</b> 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したこと等をお話しします。
平成28年 12月16日(金)	<b>第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 1月20日(金)	<b>第3回 「社会的行動障害について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 2月17日(金)	<b>第4回 「失語症について」</b> 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症について、言語聴覚士から、失語症の概要とそれに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 3月17日(金)	<b>第5回 「就労に向けて」</b> 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、ご本人やご家族及び支援者が、共通して知りたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。

時 間:午前10時～午前11時

会 場:京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室 (京都市中京区壬生仙念町30番地)

講 師:京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他

受講対象者:市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者

地域がエルです。

市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方

定 員:先着70名

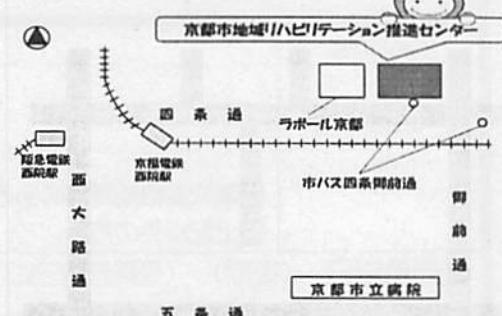
参 加 費:無料

申込方法:裏面の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにて

お申込みください。(電話によるお申込みも受け付けます。)

後期日程分の申込は、平成28年10月3日から受け付けます。

申込締切:各開催日の2日前(ただし、定員に達し次第、締め切れます。)



## 【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター(京都市中京区壬生仙念町30番地)

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075) 823-1658 FAX : (075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く) 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinhoukinou-city-kyoto.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/koujinhoukinou.city.kyoto>



(ホームページ)



(Facebook)

# 平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」後期 申込書

必要事項をご記入のうえ、該当する□にチェック、受講希望日に○をしてください。

ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	運送先Tel 運送先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」		
平成29年 1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		
ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	運送先Tel 運送先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」		
平成29年 1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		
ふりがな		お住まいの行政区 (区)
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	運送先Tel 運送先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」		
平成29年 1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		

\*後期日程分の申込は、平成28年10月3日から受け付けます。各講座の2日前までにお申込みください。

ただし、定員に達し次第締め切りますので、お早目にお申込みください。

**FAX (075) 842-1541**

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)  
8:30～12:00及び13:00～16:00

# ～高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修～

当センターでは、高次脳機能障害についての基礎的な講座として「高次脳機能障害 入門講座」を定期開催しています。参加された支援者の方からは、さらに「障害理解を深めたい」、「より具体的な支援方法を学びたい」、「他の事業所ではどのように支援しているのか知りたい」等のご意見をいただきました。

そこで、「高次脳機能障害 入門講座」を受講された支援者の方を対象に、さらに一步踏み込んだ内容の研修として「支援者のためのステップアップ研修」を企画しました。モデルケースを通した講義の他に、実際にグループワークとしてケースの支援検討や支援者間の情報交換及び交流を行う3回シリーズの実践的な内容です。是非、ご参加ください！



## 1クール目

	日 時	内 容
1 回 目	7月22日（金） PM13:30～15:30	【講義と支援者交流】 高次脳機能障害のある方を支援する際、どのようなポイントを押さえて障害特性を把握し、支援方法を検討していくべきか、モデルケースをとおして理解を深めます。その後、支援者間での情報交換や交流の時間を持ちます。
2 回 目	8月26日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討①】 高次脳機能障害のどういった障害特性があり、どのようなことに配慮して支援をしていくべきか、グループでモデルケースを検討し、支援方法を学びます。
3 回 目	9月30日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討②】 高次脳機能障害のどういった障害特性があり、どのようなことに配慮して支援をしていくべきか、グループでモデルケースを検討し、支援方法を学びます。

## 2クール目

1 回 目	1月13日（金） PM13:30～15:30	【講義と支援者交流】 上記、1回目を参照
2 回 目	2月3日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討①】 上記、2回目を参照
3 回 目	3月10日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討②】 上記、3回目を参照

※1クール目、2クール目は同様の内容です。（なるべく3回通してご参加ください。）

会 場：京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室

(京都市中京区壬生仙念町30番地)

講 師：京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーター

受講対象者：高次脳機能障害のある方の支援に関わる関係機関の方で、当センター開催の  
「高次脳機能障害 入門講座」を受講済みの方又は、高次脳機能障害の基礎知識が  
ある方（当研修では、入門講座のような基礎的な内容は含みません。）

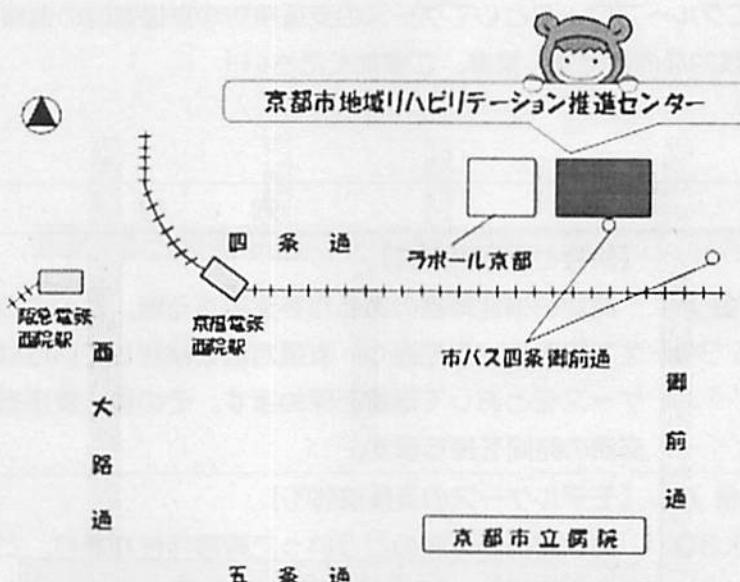
定 員：先着40名

参 加 費：無料

申込方法：別紙「申込書」に必要事項を記載し、FAXにてお申込みください。

(電話によるお申込みも受け付けます。)

申込締切：各開催日の2日前（ただし、定員に達し次第、締め切ります。）



### 【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市中京区壬生仙念町30番地）

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター  
相談課内（1階）にあります。

TEL：(075) 823-1658 FAX：(075) 842-1541

【受付時間】 月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

8：30～12：00及び13：00～16：00

平成28年度「高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修」参加申込書

FAX番号 075-842-1541

申込者氏名 および職種	ふりがな 氏名	職種 〔 〕
所属先事業所名		
連絡先TEL		
事業所所在地		
参加希望日 (□にチェック)	1クール目 <input type="checkbox"/> 7月22日(金) <input type="checkbox"/> 8月26日(金) <input type="checkbox"/> 9月30日(金)	2クール目 <input type="checkbox"/> 1月13日(金) <input type="checkbox"/> 2月 3日(金) <input type="checkbox"/> 3月10日(金)
(参考) 入門講座の 参加に関して	当センターの入門講座に参加されたことがありますか。 ( ない ) , ある ⇒ある場合はいつ頃ですか? 下記より○印)  H27年8~10月 / H28年1~3月 / H28年5月~	
(備考) 何か特記事項があれ ばご記入ください。		

申込者氏名 および職種	ふりがな 氏名	職種 〔 〕
所属先事業所名		
連絡先TEL		
事業所所在地		
参加希望日 (□にチェック)	1クール目 <input type="checkbox"/> 7月22日(金) <input type="checkbox"/> 8月26日(金) <input type="checkbox"/> 9月30日(金)	2クール目 <input type="checkbox"/> 1月13日(金) <input type="checkbox"/> 2月 3日(金) <input type="checkbox"/> 3月10日(金)
(参考) 入門講座の 参加に関して	当センターの入門講座に参加されたことがありますか。 ( ない ) , ある ⇒ある場合はいつ頃ですか? 下記より○印)  H27年8~10月 / H28年1~3月 / H28年5月~	
(備考) 何か特記事項があれ ばご記入ください。		

※なるべく3回通してご参加ください。